

# 令和4年度 社会実験実施結果

## 5. 社会実験の実施支援及び実施結果の整理・分析

本業務にて支援を行った社会実験は、市の目指すかわまちづくりの機運醸成並びに対象地の集客ポテンシャルや対象地活用の課題把握を目的とする。

そのため、本業務では前述の目的達成のために社会実験結果を活用し、「対象地の集客ポテンシャルの検証」及び「対象地活用の課題整理」を行うとともに、本事業で目指す飲食施設の「整備効果の検証」を行う。

具体的には「社会実験に訪れた人（以下「来客」という。）へのアンケート調査（以下「アンケート調査」という。）、平時・社会実験時・河川敷イベント時における対象地周縁の通行量調査（以下「通行量調査」という。）、「キッチンカーの経営状況（以下「経営状況」という。）調査」、「対象地の土地利用評価（以下「土地利用評価」という。）」の5つの調査を行い、総合的な視点から「整備効果の検証」を行う。

### 5.1. 社会実験実施方法

社会実験は、対象地においてキッチンカーによる飲食サービスを提供した。詳細な実施概要事項は本書資料編（資料2）のとおりである。社会実験の広告・宣伝は、市やキッチンカー事業者のSNS告知、市の広報紙、新聞記事への掲載等にて行った。また、対象地に社会実験を示す立て看板の設置や来客のための木製ベンチ（10月2日：社会実験2日目から）を設けた。

#### 5.1.1. 社会実験実施日

キッチンカー出店日は、9月17日（土）、10月1日（土）、2日（日）、9日（日）、10日（月）、15日（土）、16日（日）計7日間である。通行量調査日は、9月2日（金）、3日（土）、18日（日）、10月8日（土）の4日間にキッチンカー出店日を追加した計11日間である。

#### 5.1.2. 社会実験実施時間

社会実験実施時間は昼食時の来客を想定し、10時00分から14時00分の4時間とした。

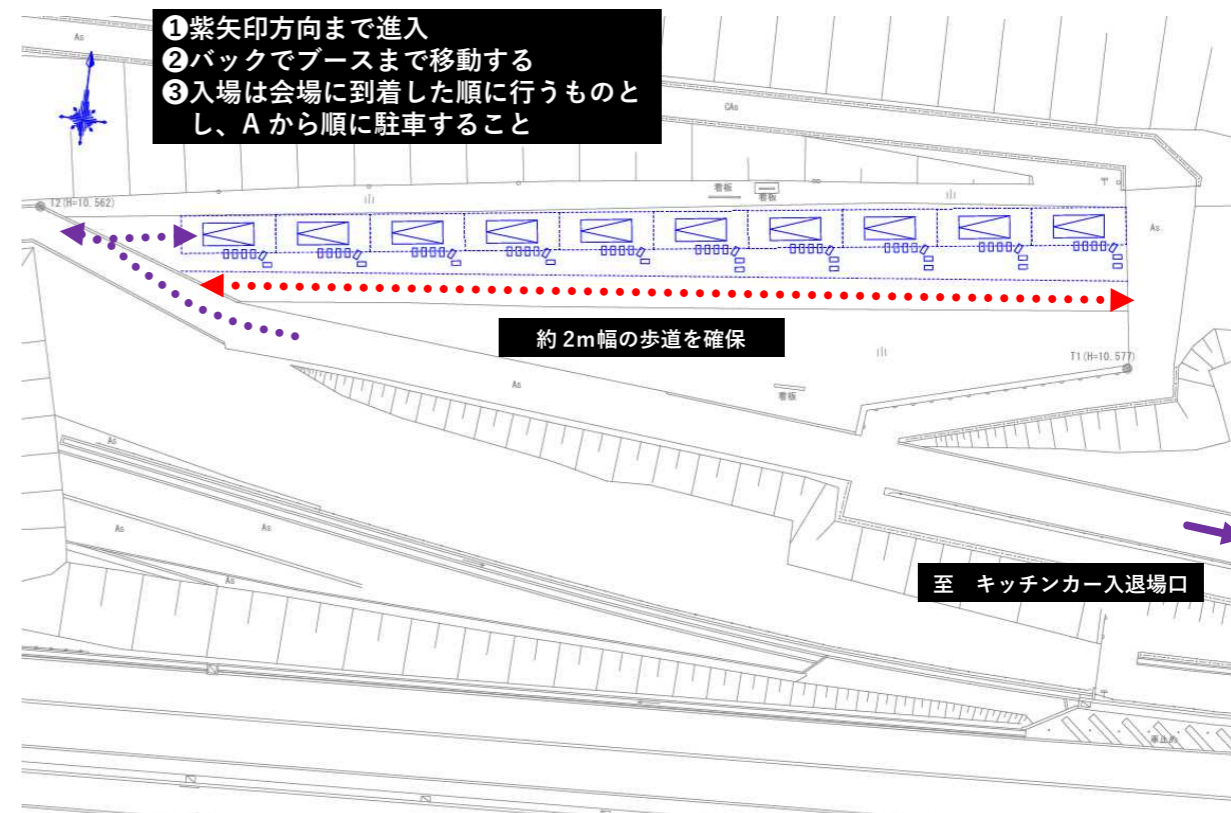
#### 5.1.3. 社会実験の会場

社会実験の会場は図5-1の青枠内とし、キッチンカーの出店エリアは図5-2のとおりである。



（下図出典：GEO space+）

図5-1：社会実験の会場



- ブースの条件
- ①ブース内で看板等のレイアウトを行うこと
- ②隣接するブースとの離隔は1m程度確保すること
- ③隣接する店舗と協力し、安全性や利便性に配慮すること
- ④ブース内にゴミ箱を設置し、出店時間内に生じた廃棄物を適正に収集、処分すること
- ⑤実施時間中（10：00～14：00）の途中退場はできない

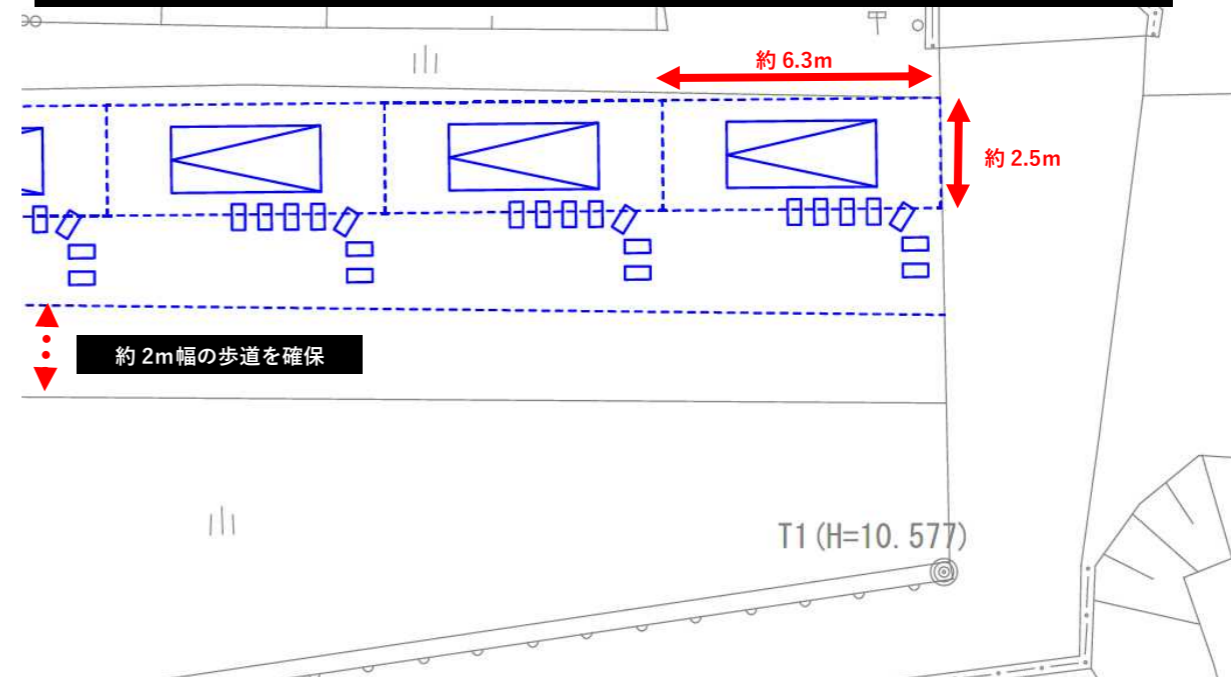


図5-2：キッチンカーの出店エリア

## 5.2. アンケート調査

### 5.2.1. 調査目的

アンケート調査は、社会実験による飲食サービスの満足度、来客の居住地や交通手段、対象地に希望する機能やサービス等を把握し、本事業の想定するターゲット検討や、対象地のポテンシャルに係る分析を行うことを目的に実施した。

### 5.2.2. 調査方法

アンケート調査は、アンケート設問 Web ページにリンクした QR コードをキッチンカーに備え、来客がアンケート設問 Web ページにアクセスし、回答する方法を採用した。また、アンケートを回答した場合は記念マグネットを提供することでアンケートの回答数向上を図った。

現在の位置 [ホーム](#) > キッチンカーを集めた社会実験のアンケート

### キッチンカーを集めた社会実験のアンケート

この度は、加古川河川敷を活かした新たな賑わいづくりの一環としてキッチンカーの社会実験にご来店いただきありがとうございます。今後、より良いかわまちづくりを進めていくうえで、アンケートにご協力ください。

キッチンカーを集めた社会実験のアンケートの表組みです。

Q1. どちらから来られましたか。	(入力必須) <input checked="" type="radio"/> 加古川市内 <input type="radio"/> 市外
Q2. 会場までの主要な交通手段は何ですか。	(入力必須) <input checked="" type="radio"/> 徒歩 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 電車 (駅からは徒歩) <input type="radio"/> 車 <input type="radio"/> その他
Q3. イベントの実施をどのように知りましたか。	(入力必須) <input checked="" type="radio"/> 会場の様子が見えたので立ち寄った <input type="radio"/> 市ホームページ <input type="radio"/> 広報かこがわ <input type="radio"/> イベントチラシ <input type="radio"/> SNS <input type="radio"/> ポスター・広告 <input type="radio"/> その他
Q4. 同じようなイベントがあれば、また来たいと思いますか。	(入力必須) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
Q5. 夜に実施した場合、来たいと思いますか。	(入力必須) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
Q6. 今後、この場所（キッチンカーで販売している場所）にどのような機能があったらいいですか。（自由記述）	(例) カフェ、飲食店、カヌーやSUPのレンタル、テントやBBQ道具のレンタル、ランニング・サイクリングステーション、休憩スペース、きれいなトイレなど。 <input type="text"/>

[確認画面に進む](#)

図 5-3 : アンケート設問 Web ページ



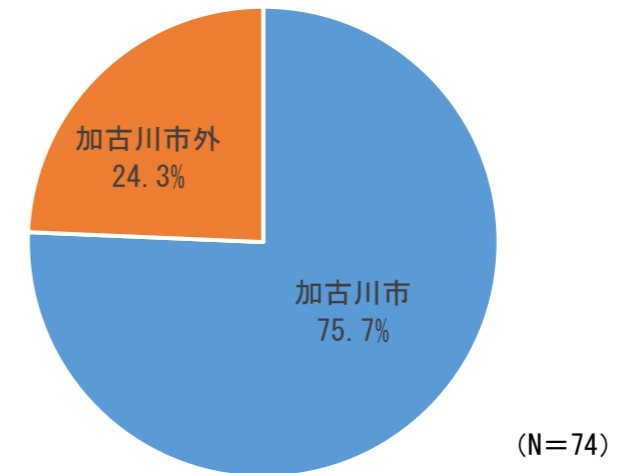
図 5-4 : 記念マグネット

### 5.2.3. 調査結果

キッチンカー出店日における総購入者数は 1,656 (人) であり、アンケートの回答人数は 74 (人) であった。

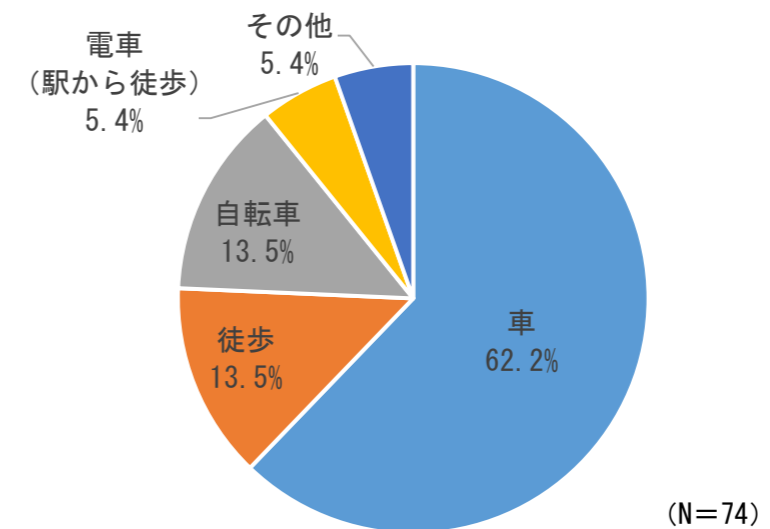
問1 どちらから来られましたか。

・「加古川市」の回答が最も多く、75.7 (%) であった。



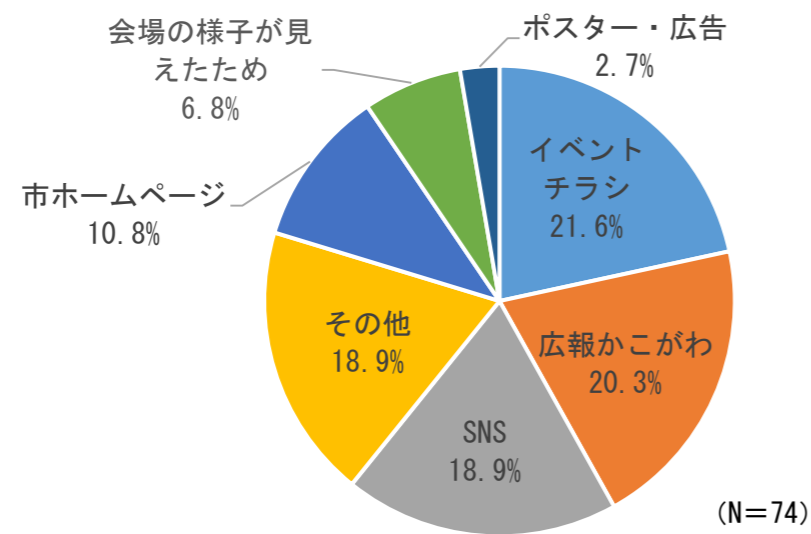
問2 会場までの主要な交通手段は何ですか。

・「車」の回答が最も多く、62.2 (%) であった。



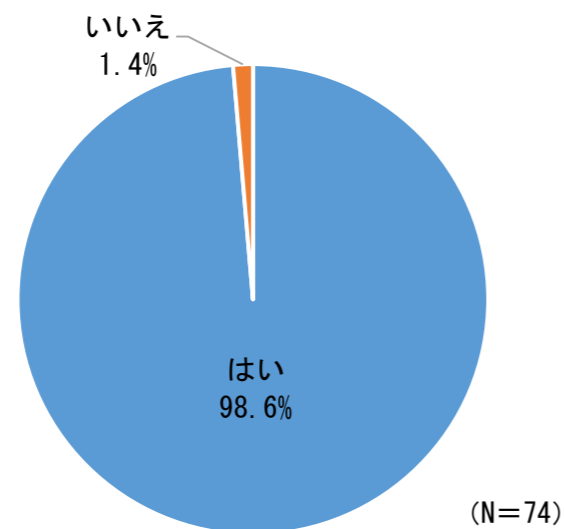
問3 イベントの実施をどのように知りましたか。

・「イベントチラシ」が最も多く、次いで「広報かこがわ」、「SNS」が多い結果となった。



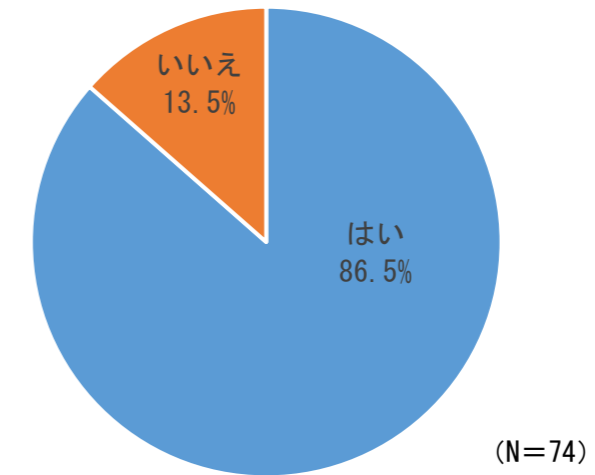
問4 同じようなイベントがあれば、また来たいと思いますか。

・「はい」の回答が最も多く 98.6 (%) であった。



問5 夜に実施した場合、来たいと思いますか。

・「はい」の回答が最も多く 86.5 (%) であった。



問6 今後この場所(キッチンカーで販売している場所)にどのような機能があったらいいですか。(自由記述)

・椅子や机を設け、飲食や休憩できるスペースの機能、トイレの機能を求める意見があった。主な意見は以下のとおりである。

(1) 机、椅子に関する意見

- ・日よけなど食べる場所
- ・食事用のテーブル
- ・座って食べられるテラス席や、きれいなトイレがあればゆっくり楽しめると思います
- ・休憩スペース(机、ベンチなど)
- ・ベンチの設置
- ・机と椅子
- ・レジャーシートやイス
- ・トイレ、手洗い場、屋根のあるベンチ
- ・座って食べられるベンチがたくさんあったらうれしい
- ・多くの席(傘があったらなおよし)、自販機
- ・ベンチをもう少し増やして欲しい
- ・ベンチの上にパラソルがほしい

(2) 居場所等に関する意見

- ・もう少し休憩スペースがあればいいな
- ・駐車場
- ・トイレが近くにあると助かります。加古川の地域の方との結びつきを多くの人と共有できる場所であ

るともいいかも、退職された方などが何かできるような位置ができればいいのかも、たとえば、神戸市のKIITOでやっているような退職しても楽しいことが選べる

- ・座って休憩できるスペース
- ・天気が良かったので日陰が欲しい
- ・冷暖房完備の休憩所
- ・座って食べるスペースが有るといいですね。
- ・高台で景色もいいので、景色を見ながら飲食やゆっくりできるスペースがあればいいと思います(風雨をしのげる)
- ・テラスがあったら嬉しい
- ・また、駐車スペースからもっと近いといいなと思いました。
- ・休憩スペースは必須その他県外等からの出店があれば魅力が強まる
- ・イス 日よけなど食べる場所
- ・ハンドメイド、子供が作れるものづくり、子供が遊べるスポーツなど、数店舗だと集客力が足りないので、下の河川敷を使ってロハスミーツみたいに大々的にしてほしい

### (3) トイレに関する意見

- ・トイレが土手側になくニッケか奥に行かないとなくて少し不便だから土手に増やして欲しい
- ・トイレ、手洗い場、屋根のあるベンチ
- ・トイレが近くにあると助かります、加古川の地域の方との結びつきを多くの人と共有できる場所であるともいいかも、退職された方などが何かできるような位置ができればいいのかも、たとえば、神戸市のKIITOでやっているような退職しても楽しいことが選べる
- ・きれいなトイレ
- ・休憩スペースとトイレがあったら助かります
- ・座って食べられるテラス席や、きれいなトイレがあればゆっくり楽しめると思います

### (4) 飲食サービスに関する意見

- ・カフェ、レストラン、大規模な日陰の公園、大型扇風機や暖炉や焚き火のある公園
- ・飲食店
- ・お酒
- ・飲食スペース
- ・カフェや飲食店、カヌーや sup

### (5) その他意見

- ・写真撮影スポット
- ・アウトドアショップ
- ・ゴミ箱があると嬉しいです

### 5.2.4. 調査結果の整理・分析

社会実験による飲食サービスの満足度、来客の居住地や交通手段、対象地に希望する機能やサービス等を把握し、本事業の想定するターゲット検討や、対象地のポテンシャルに係る分析を行うにあたり、調査結果から読み取ることのできる特徴について、設問毎に整理・分析を行った。なお、アンケート回答数が74(人)であることに留意する。

#### 問1 来客者の居住地 / 問2 対象地までの交通手段 / 問3 イベントを知るきっかけ

- 来客の7割程度は加古川市民であり、移動手段として車を多く利用している。また、社会実験を知ったきっかけの5割以上(イベントチラシ、広報かこがわ、市ホームページ)は市の広報媒体であることから、対象地に飲食サービスを展開する場合に市民をターゲットにすることは有効であると考えられる。
- またその場合において、車による来客に対応できるようになることは来客数増加のための大きな要素であると考えられる。
- 加えてイベント(社会実験)を知るきっかけとして、少数だが「会場の様子がみえたため」と回答した者がおり、このことは対象地の様子そのものが集客効果に影響を与える可能性を示唆している。

#### 問4 今後も同様のイベント実施することについて / 問6 対象地に求められる機能について

- 回答者の9割程度は「また来たい」と回答している。また回答数74(人)のなか、自由記述において「このような場所があればより良い」といった対象地の魅力向上に関連する意見を複数確認することができる。
- 来客の多くは市民であり、前述のアンケート結果を踏まえると、対象地を社会実験のように活用することは主たるターゲットになりうる市民にとって関心が高く、これらのニーズや今後の潜在的ニーズに応えることで、飲食施設の採算性・事業継続性の確保はもちろんのこと、かわまちづくり計画の目指すかわまちづくりエリアの状態の獲得といった相乗効果・好循環が期待できる。

#### 問5 夜にイベント実施することについて

- 回答者の約8割が「夜にイベントを実施した場合も来たい」と回答しているが、設問4の「また来たい」と回答した者の割合より若干少ないこと、イベント時期が9月～10月の快適な気候であったことに留意する。
- 前述のとおり、対象地の活用に関する市民の関心は高いものと考えられるが、気候条件に左右される対象地周縁の利活用には、季節に応じた夜イベントを実施する等、対象地の新規利用者・リピーター獲得に向けた工夫が必要と考える。

#### 問6 対象地に求められる機能について

- 設問6は自由記述であり、選択肢を設けていないにも関わらず、飲食サービス及び付随して必要な機能等に関する意見を確認することができた。
- 具体的にはトイレ、日陰、テラス、椅子・テーブルに関する意見であり、対象地の利用者にとって「快適性」、「利便性」、「くつろげる時間(適度な滞在時間)」を望む意見であると考えられる。

### 5.2.5. 対象地のポテンシャル等に係る分析

前述のとおり、対象地に飲食施設を誘致する等の活用を行うにあたり、市民は主たるターゲットになる可能性が高いと考えられる。また、恒常的に利用者を獲得し、新規利用者・リピーターによるロコミ効果等の好循環、かわまちづくりエリア全体としての利用者増といった相乗効果を目指すうえでは、来客意見にあるように、対象地において利用者にとって「快適性」、「利便性」、「くつろげる時間（適度な滞在時間）」を獲得することが有効と考えられる。

以上より、アンケート結果からは対象地の集客ポテンシャル・活用ポテンシャルは高いと考えられる。

### 5.2.6. 課題の整理

前項に示す「快適性」、「利便性」、「くつろげる時間（適度な滞在時間）」を確保するためには、飲食施設の整備に加え、広場やテラス等の心地良い半屋外空間や、明るく清潔なトイレの整備・維持管理が課題といえる。

また、交通渋滞や歩車分離等の安全性を確保したうえで、車による来訪を適切に増加させる取り組みや公共交通への転換を図り、JR加古川駅から徒歩で対象地に訪れてもらえるよう、利用者を導くための工夫が課題といえる。具体的にはJR加古川駅から対象地までの案内サインを整備することや徒歩・自転車の専用通路の整備等が考えられる。

## 5.3. 通行量調査

### 5.3.1. 調査目的

通行量調査は、平時、社会実験時、河川敷イベント時において対象地周縁の歩行者数を通行量として調査し、平時に比べ社会実験時や河川敷イベント時にどの程度通行量が変化するか、JR加古川方向又は対象地北側河川敷方向から来客はどのように対象地にアクセスするのか等の特性を把握することを目的に実施した。

また、調査結果を活用し、対象地周縁の集客ポテンシャル及び対象地活用の際の課題について検討を行った。

### 5.3.2. 調査方法

調査方法は図 5-5 のとおり計測断面を設定し、調査員によって通行量を計測した。調査方法の詳細は本書資料編（資料 3）のとおりである。

#### a) 通行量調査日

通行量調査日は、9月2日（金）、3日（土）、17日（土）、18日（日）、10月1日（土）、2日（日）、8日（土）9日（日）、10日（月）、15日（土）、16日（日）計11日間である。

#### b) 通行量調査時間

通行量調査時間は、9時30分から14時30分の5時間とした。なお、計測時間は30分単位とし、自転車は計測対象に含めないものとした。

#### c) 通行量調査の対象者

##### (1) 来客

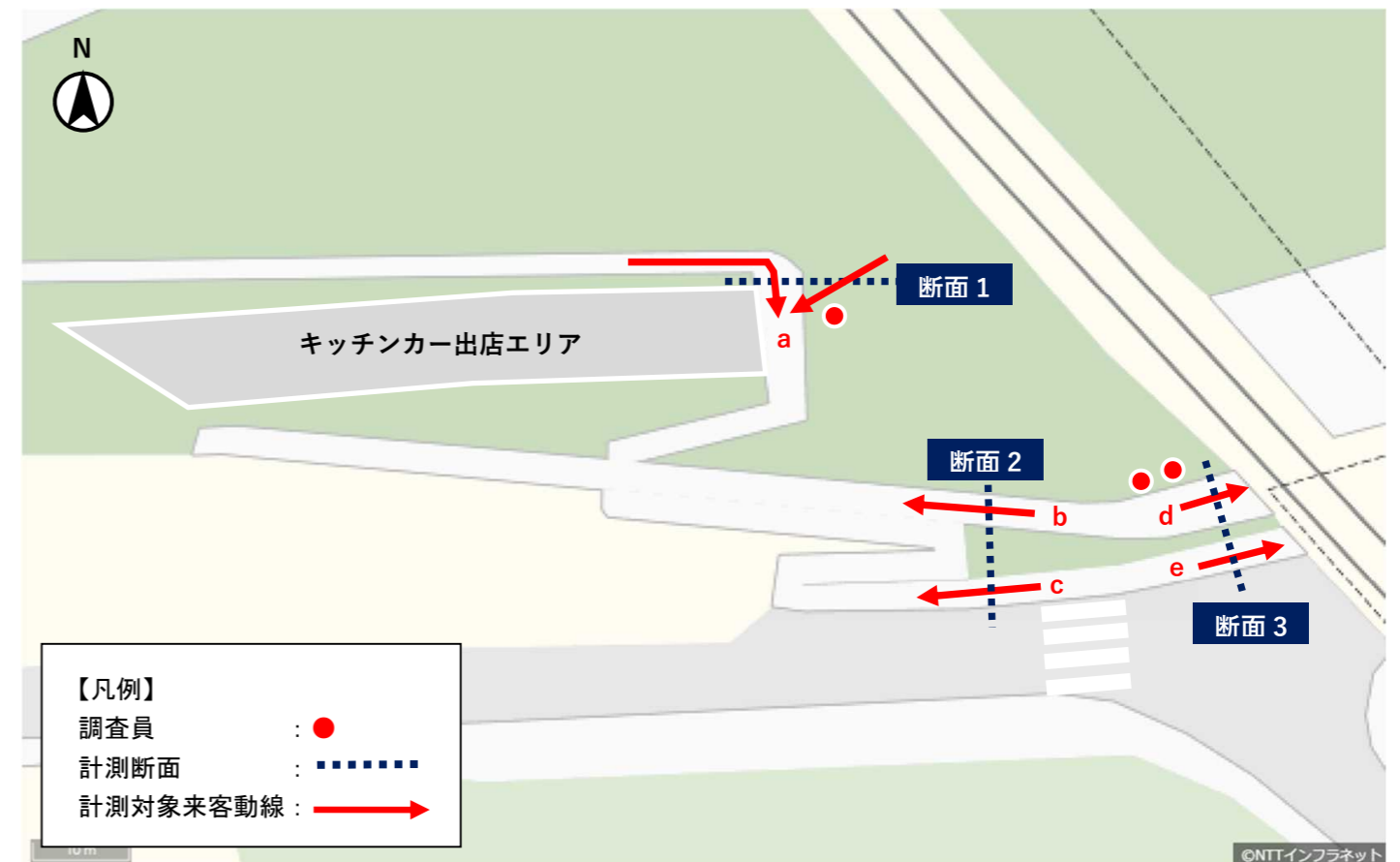
- ・来客を想定し、対象地に向かう計測断面を図 5-5（断面1、2）、3動線（a、b、c）とした。  
（断面1：河川敷から対象地に向かう、断面2：新加古川左岸線から対象地に向かう）

##### (2) 河川敷イベントの来訪者

- ・対象地北東側で開催する河川敷イベントの来訪者を想定し、対象地北東側に向かう計測断面を図 5-5（断面3）、2動線（d、e）とした。  
（断面3：横断歩道を渡り、対象地北東側に向かう）

#### d) 調査体制

調査員は3名とし各員が各断面を計測した。



（下図出典：GEO space+）

図 5-5：通行量調査 計測断面

5.3.3. 調査結果

a) 通行量調査のみ

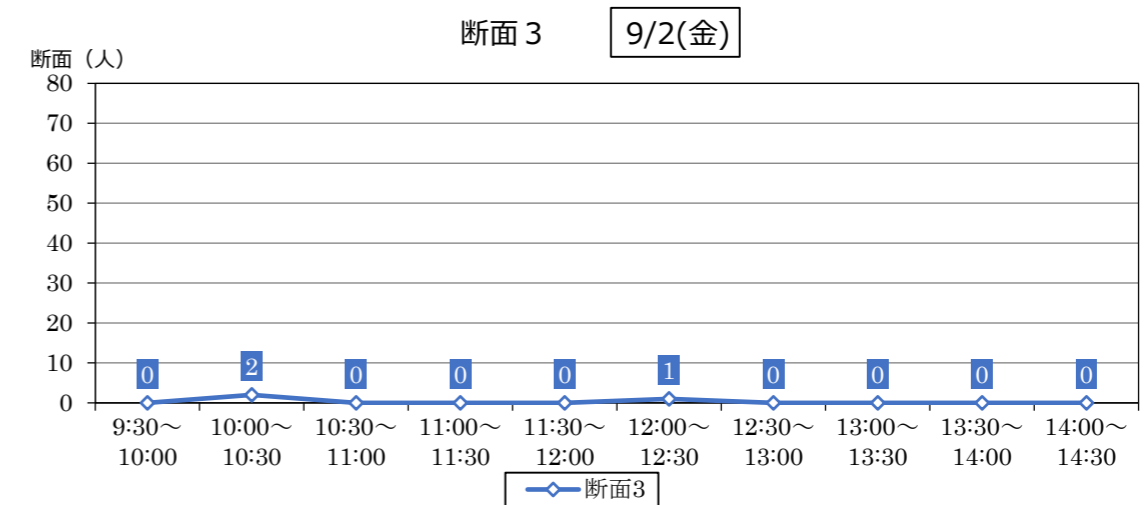
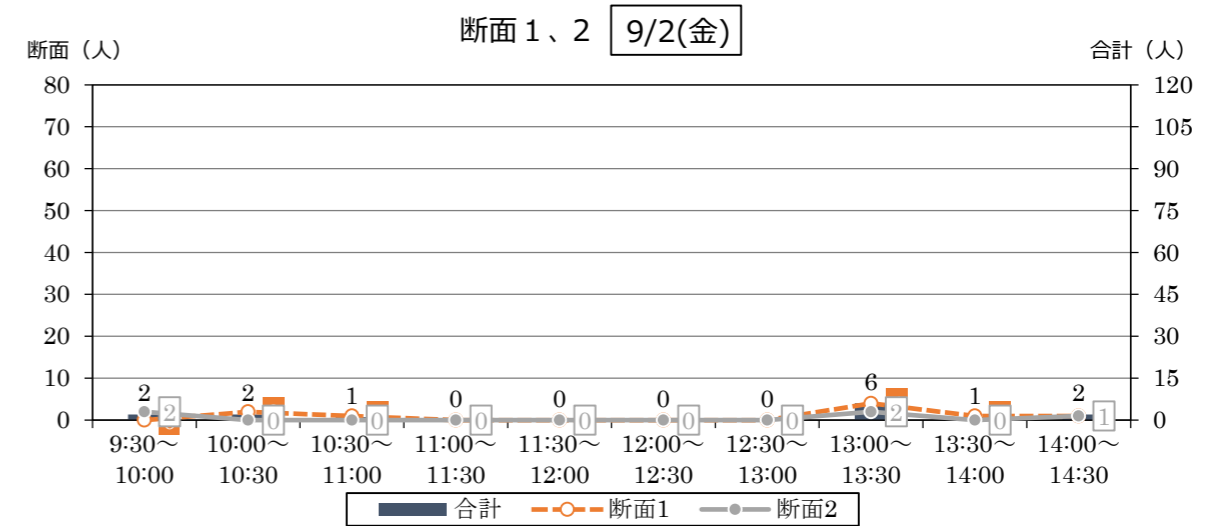
(1) 9月2日(金) 9:30~14:30

天候等	天候：晴れ 気温：最低 27℃最高 34℃
キッチンカー台数	出店無
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断面1の通行量は、13:00~13:30の時間帯が4人で最大となる。</li> <li>・ 断面2の通行量は、b方向の13:00~13:30の時間帯が2人で最大となる。</li> <li>・ 断面3の通行量は、10:00~10:30の時間帯が2人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平時(河川付近でイベント等なし)では、通行量が0人の時間帯があった。そのため、平時では、対象地の利用者が少なく対象地は、活用されていないと考えられる。</li> <li>・ 断面1の通行量から、高水敷から堤防へ一定数向かっている。対象地は、高水敷と堤内地を結ぶ通路として活用されていると考えられる。</li> </ul>

(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	0	1	1	0	0	
10:00~10:30	2	0	0	1	1	
10:30~11:00	1	0	0	0	0	
11:00~11:30	0	0	0	0	0	
11:30~12:00	0	0	0	0	0	
12:00~12:30	0	0	0	0	1	
12:30~13:00	0	0	0	0	0	
13:00~13:30	4	2	0	0	0	
13:30~14:00	1	0	0	0	0	
14:00~14:30	1	0	1	0	0	
合計	9	3	2	1	2	
断面合計	9	5		3		

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



(2) 9月3日(土) 9:30~14:30

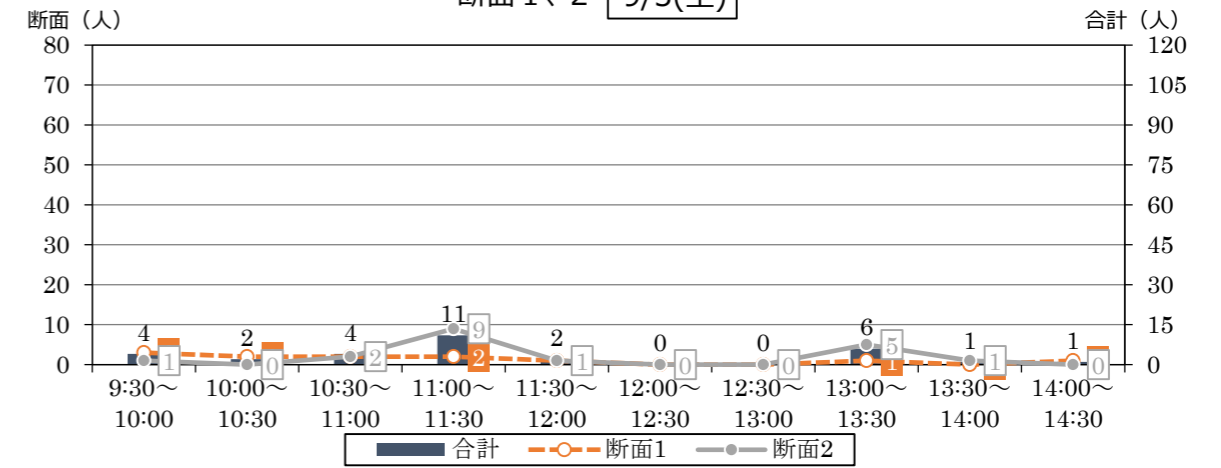
天候等	天候：晴れ 気温：最低 27℃最高 33℃
キッチンカー台数	出店無
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断面1の通行量は、9:30~10:00の時間帯が3人で最大となる。</li> <li>・断面2の通行量は、b方向の11:00~11:30の時間帯が9人で最大となる。</li> <li>・断面3の通行量は、d方向の10:30~11:00の時間帯が5人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時では、平時と比べ土曜日の通行量が多い。</li> <li>・高水敷から堤防へ断面1を基に比較すると平時より通行量が多い。</li> </ul>

(単位：人)

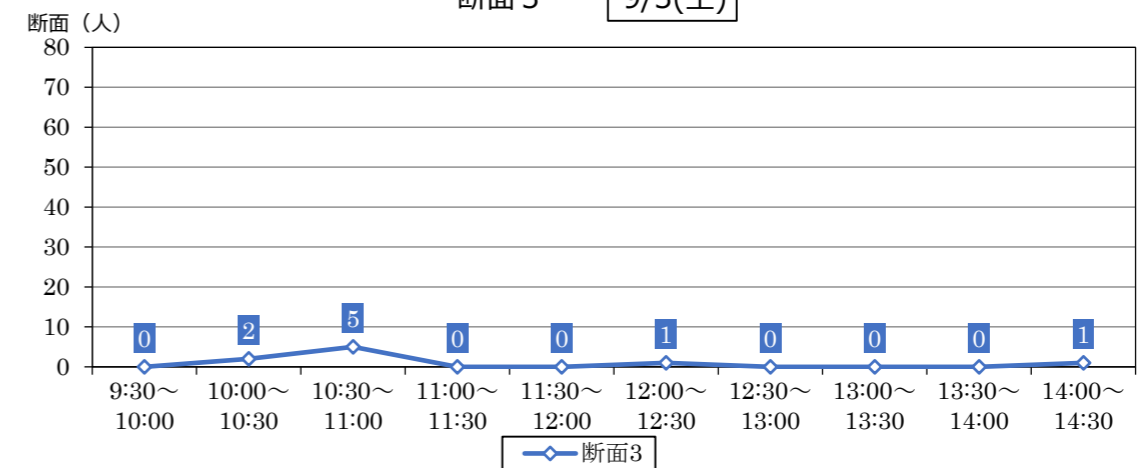
計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	3	1	0	0	0	
10:00~10:30	2	0	0	0	2	
10:30~11:00	2	1	1	5	0	
11:00~11:30	2	9	0	0	0	
11:30~12:00	1	1	0	0	0	
12:00~12:30	0	0	0	0	1	
12:30~13:00	0	0	0	0	0	
13:00~13:30	1	5	0	0	0	
13:30~14:00	0	1	0	0	0	
14:00~14:30	1	0	0	1	0	
合計	12	18	1	6	3	
断面合計	12	19		9		

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数

断面1、2 9/3(土)



断面3 9/3(土)



b) 社会実験時

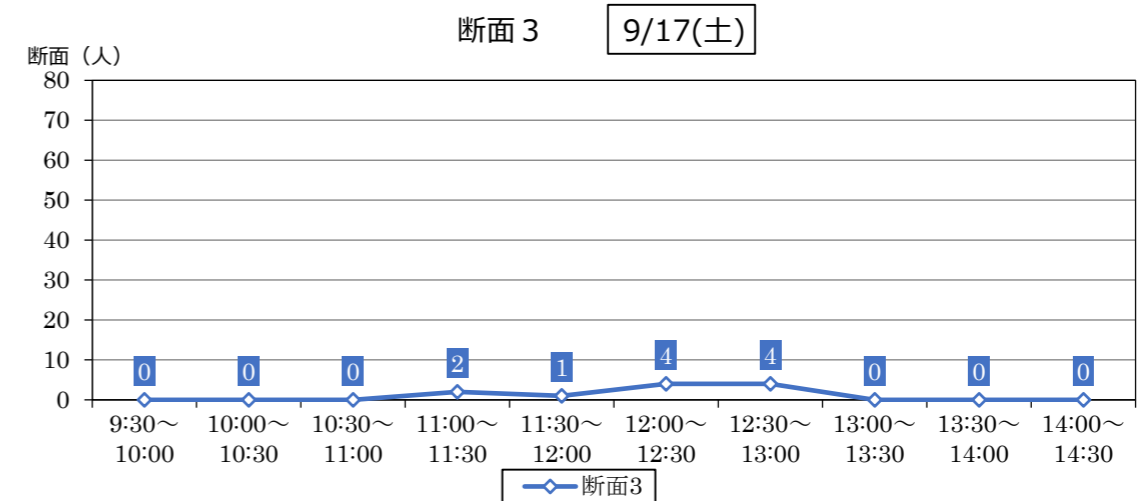
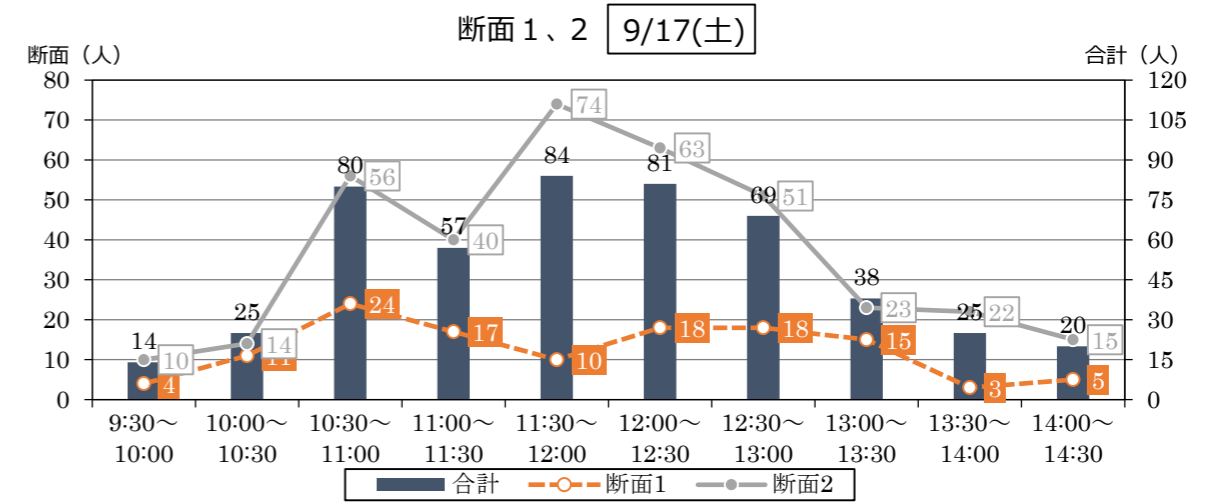
(1) 9月17日(土) 9:30~14:30

天候等	天候：晴れのち曇り 気温：最低 28℃最高 29℃
キッチンカー台数	8 台
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断面1の通行量は、10:30~11:00の時間帯が24人で最大となる。</li> <li>・ 断面2の通行量は、b方向の11:30~12:00の時間帯が68人で最大となる。</li> <li>・ 断面3の通行量は、d方向の12:30~13:00の時間帯が4人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平時より、通行量が多い。また、10:30~13:00の昼時の通行量が各断面で特に多い。対象地にキッチンカーがあり、近隣の商業施設、近隣道路から視認性が良い。</li> <li>・ 高水敷から堤防へ通行量が一定数あることから、駐車場を利用した来客がいたと考えられる。</li> <li>・ ベンチがなかったため、対象地での立食や地面に座って飲食する姿が見えた。また、法面に座り河川を眺めながら飲食する姿もあった。</li> </ul>

(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	4	7	3	0	0	
10:00~10:30	11	8	6	0	0	
10:30~11:00	24	54	2	0	0	
11:00~11:30	17	32	8	1	1	
11:30~12:00	10	68	6	1	0	
12:00~12:30	18	52	11	2	2	
12:30~13:00	18	40	11	4	0	
13:00~13:30	15	20	3	0	0	
13:30~14:00	3	21	1	0	0	
14:00~14:30	5	15	0	0	0	
合計	125	317	51	8	3	
断面合計	125	368		11		

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



3-1 対象地の様子



3-2 対象地の様子



3-3 高水敷からみた対象地



3-4 新加古川左岸線からみた対象地



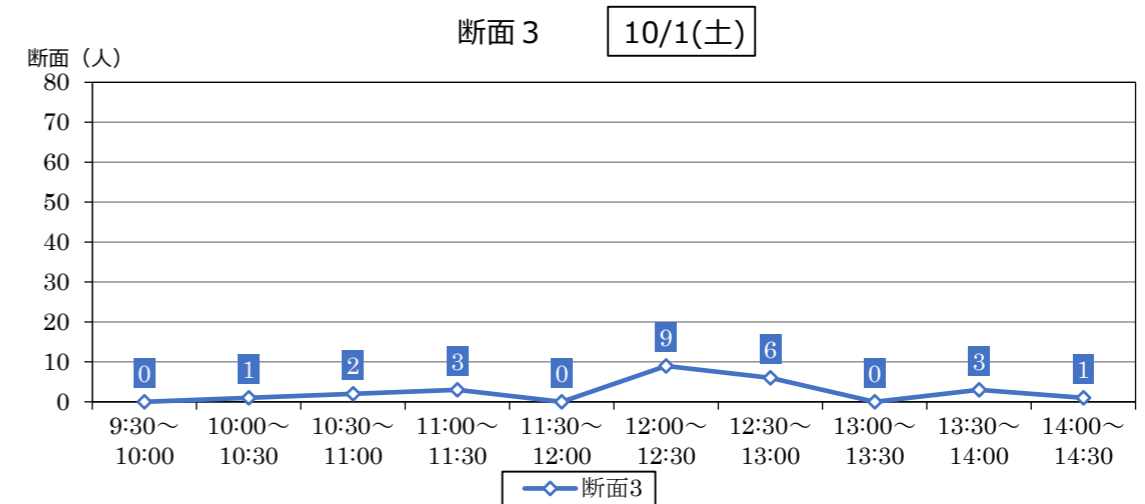
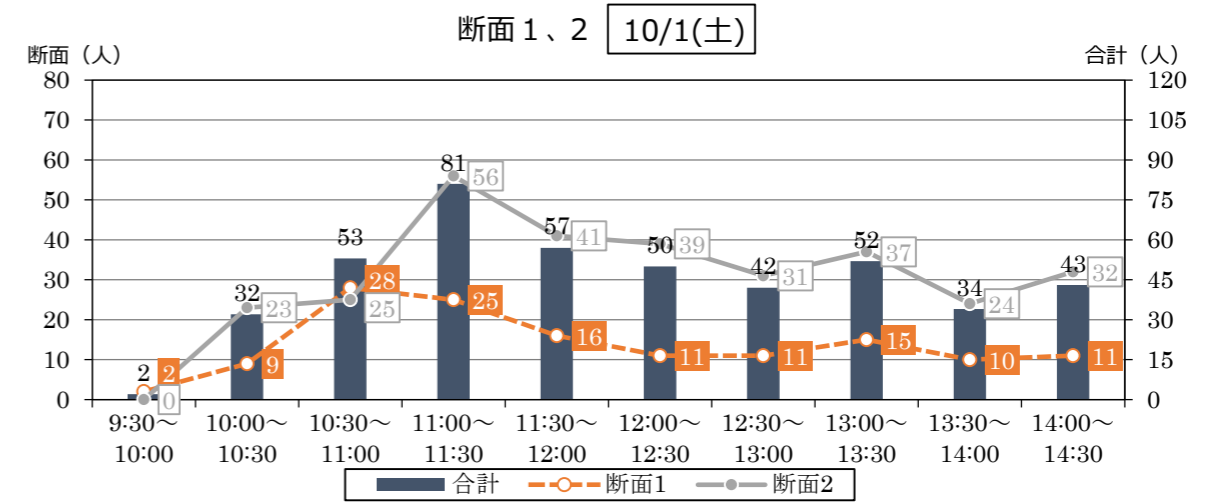
(2) 10月1日(土) 9:30~14:30

天候等	天候：晴れ 気温：最低 20℃最高 25℃
キッチンカー台数	8 台
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断面 1 の通行量は、10：30～11：00 の時間帯が 28 人で最大となる。</li> <li>・ 断面 2 の通行量は、b 方向の 11：00～11：30 の時間帯が 52 人で最大となる。</li> <li>・ 断面 3 の通行量は、d 方向の 12：00～12：30 の時間帯が 7 人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベンチを設置することで、ベンチに座り河川側を向いて飲食をする姿が見えた。</li> <li>・ 13 時以降の通行量もあったため、昼食以外の飲食をする方もいたのではないか。</li> <li>・ 自転車が断面 2 を通る際には、スロープのある c 方向を利用していた。</li> </ul>

(単位：人)

計測時間	断面 1		断面 2		断面 3	
	a 方向	b 方向	c 方向	d 方向	e 方向	
9:30～10:00	2	0	0	0	0	
10:00～10:30	9	22	1	1	0	
10:30～11:00	28	21	4	2	0	
11:00～11:30	25	52	4	1	2	
11:30～12:00	16	26	15	0	0	
12:00～12:30	11	33	6	7	2	
12:30～13:00	11	26	5	6	0	
13:00～13:30	15	34	3	0	0	
13:30～14:00	10	15	9	0	3	
14:00～14:30	11	29	3	0	1	
合計	138	258	50	17	8	
断面合計	138	308		25		

- : a 方向 時間辺り最大人数
- : b 又は c 方向 時間辺り最大人数
- : d 又は e 方向 時間辺り最大人数



4-1 断面 2 の様子



4-2 高水敷の様子



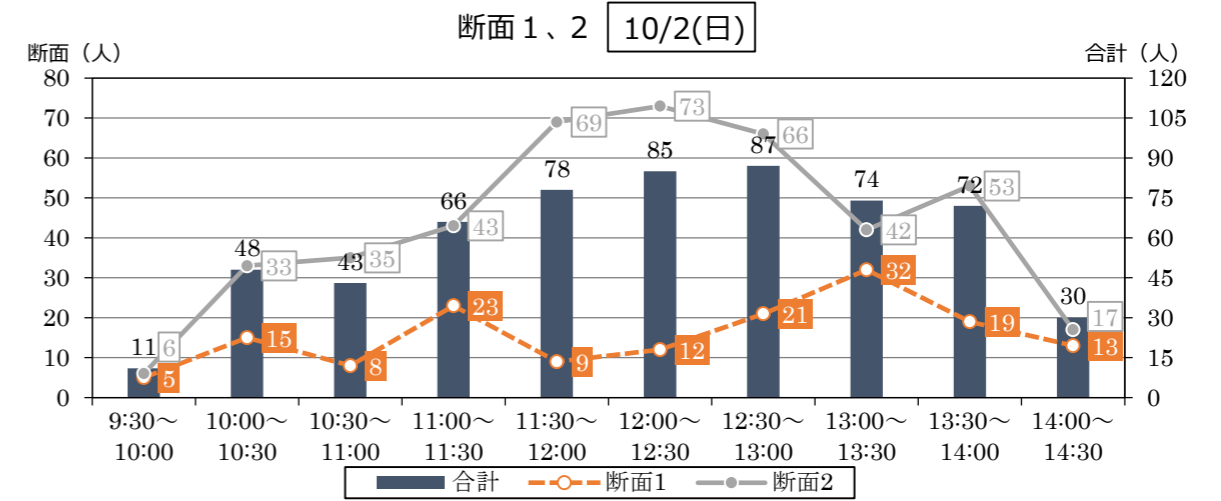
4-3 対象地近辺からみた様子



4-4 新加古川左岸線からみた対象地

(3) 10月2日(日) 9:30~14:30

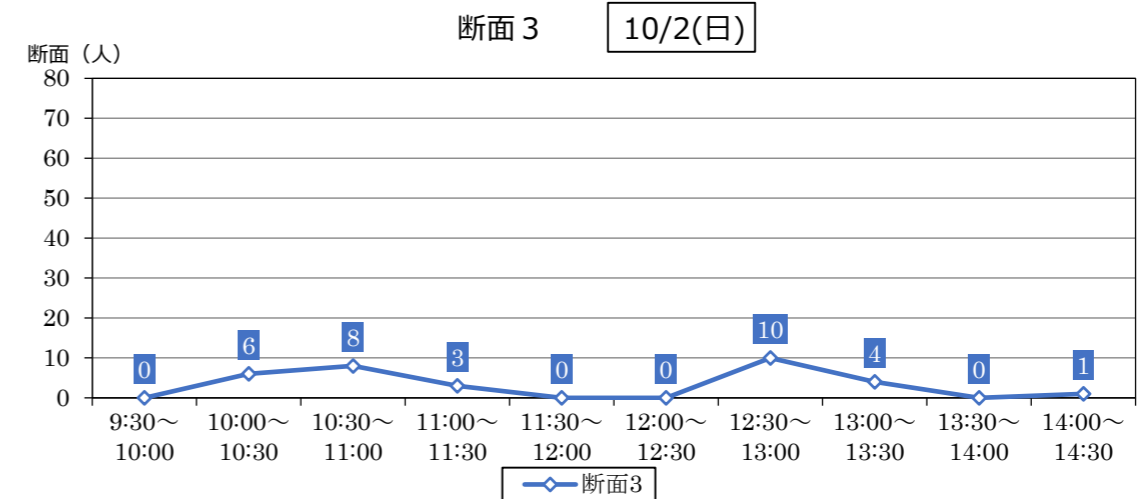
天候等	天候：晴れ 気温：最低25℃最高26℃
キッチンカー台数	6台
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、13:00~13:30の時間帯が32人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量は、b方向の12:00~12:30の時間帯が69人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量は、d方向の12:30~13:00の時間帯が10人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>高水敷と天端を繋ぐ管理通路では、自転車やベビーカー等の利用者があり、自転車や家族連れが通行していた。</li> <li>管理通路以外を通行している方がおり、利用者の利便性を高めるために対象地の管理通路の動線の見直しが考えられる。</li> </ul>



(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	5	6	0	0	0	
10:00~10:30	15	28	5	5	1	
10:30~11:00	8	27	8	6	2	
11:00~11:30	23	31	12	3	0	
11:30~12:00	9	51	18	0	0	
12:00~12:30	12	69	4	0	0	
12:30~13:00	21	66	0	10	0	
13:00~13:30	32	39	3	4	0	
13:30~14:00	19	40	13	0	0	
14:00~14:30	13	17	0	0	1	
合計	157	374	63	28	4	
断面合計	157	437		32		

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



5-1 高水敷と天端を繋ぐ管理通路



5-2 対象地の自転車の様子



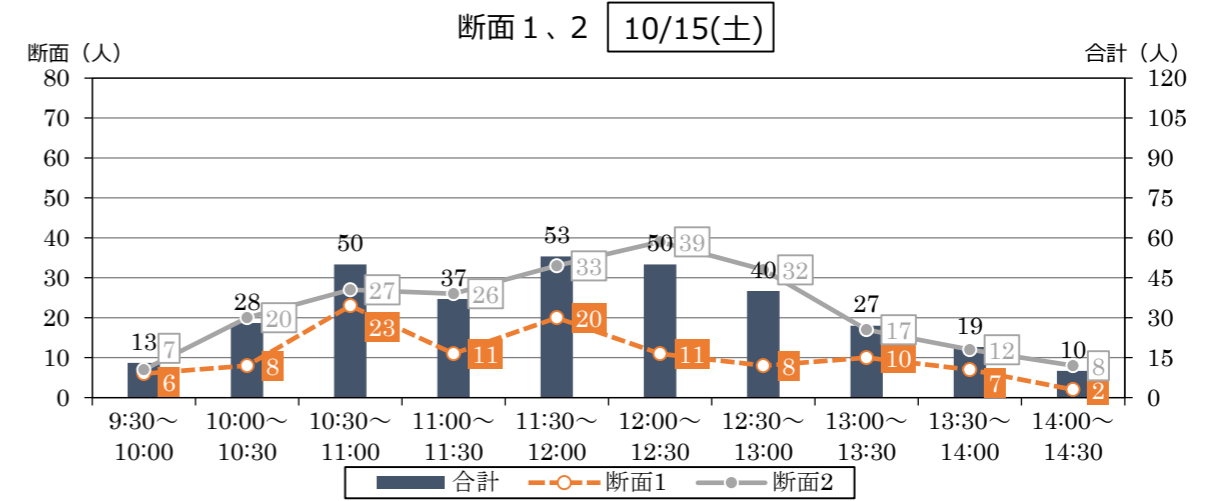
5-3 対象地の様子



5-5 管理通路以外の通行者

(4) 10月15日(土) 9:30~14:30

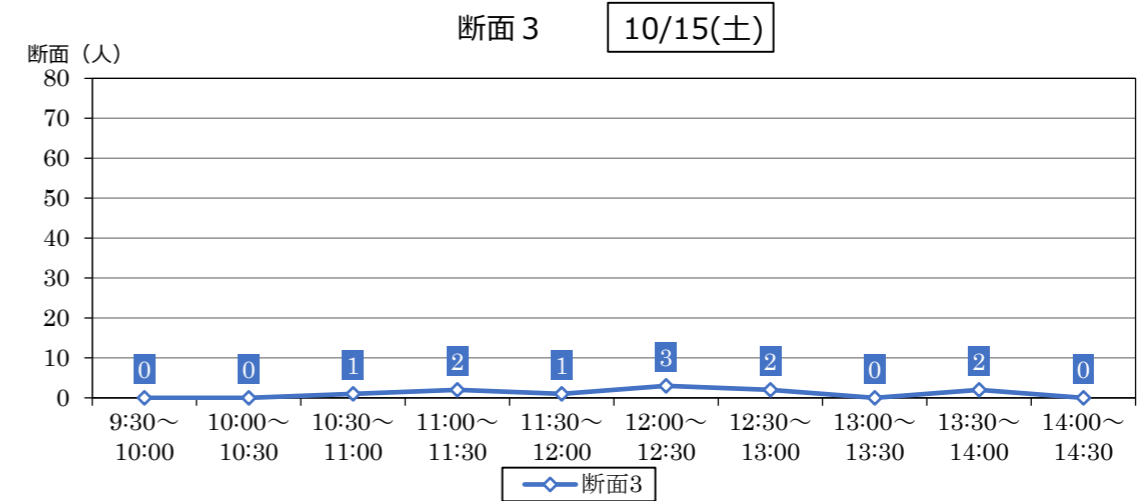
天候等	天候：晴れ 気温：最低20℃最高24℃
キッチンカー台数	10台
河川敷イベント	未実施
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・断面1の通行量は、10:30~11:00の時間帯が23人で最大となる。</li> <li>・断面2の通行量は、b方向の11:30~12:00の時間帯が32人で最大となる。</li> <li>・断面3の通行量は、d方向の12:00~12:30の時間帯が3人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時より通行量が多い。</li> <li>・対象地に社会実験で最大のキッチンカー10台を配置した。</li> <li>・飲食の様子が、ベンチに座る、法面に座る、立食と様々であった。</li> </ul>



(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	6	5	2	0	0	
10:00~10:30	8	11	9	0	0	
10:30~11:00	23	26	1	1	0	
11:00~11:30	11	20	6	2	0	
11:30~12:00	20	32	1	1	0	
12:00~12:30	11	31	8	3	0	
12:30~13:00	8	22	10	2	0	
13:00~13:30	10	10	7	0	0	
13:30~14:00	7	11	1	0	2	
14:00~14:30	2	8	0	0	0	
合計	106	176	45	9	2	
断面合計	106	221		11		

<span style="background-color: #FFD700; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : a方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #FFFF00; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : b又はc方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #C8E6C9; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : d又はe方向 時間辺り最大人数



6-1 対象地の様子



6-2 キッチンカーの配置の様子



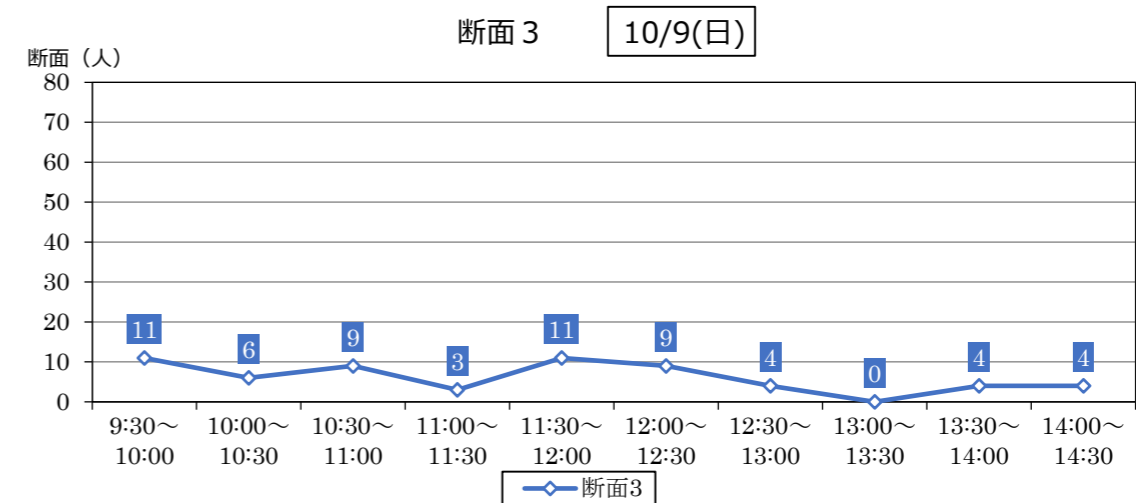
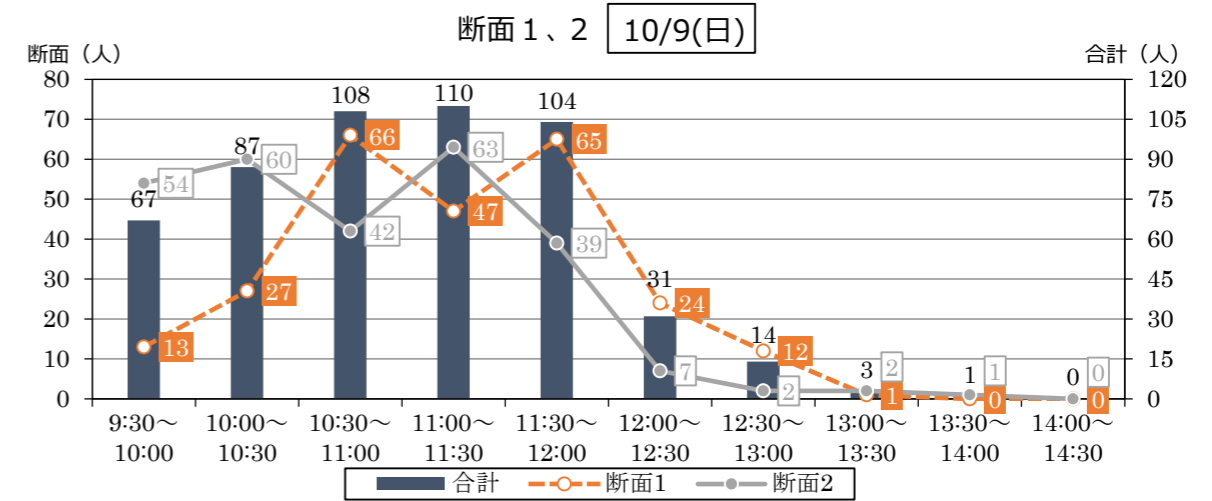
6-3 飲食の様子



6-4 ベンチに座る様子

(1) 10月9日(日) 9:30~14:30

天候等	天候：曇りのち雨 気温：最低16℃最高18℃
キッチンカー台数	9台
河川敷イベント	「第2回 Kako Re:Birth アート・おんがく・ものづくりフェスティバル」 主催：Kako Re:Birth (カコ・リバーズ)
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、10:30~11:00の時間帯が66人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量は、b方向の11:00~11:30の時間帯が61人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量は、d方向の11:30~12:00の時間帯が11人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川敷イベントがあり、午前中の通行量が多かったが、午後から雨が降り12:00以降は通行量が減少した。</li> <li>河川敷イベントと社会実験があることで、対象地を通り河川敷イベントに行く人が一定数いた。</li> <li>河川敷イベントと対象地を結ぶ動線に河川管理通路のスロープ以外に高架下の通路を利用する方もいた。</li> </ul>



(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	13	41	13	2	9	
10:00~10:30	27	55	5	6	0	
10:30~11:00	66	28	14	7	2	
11:00~11:30	47	61	2	3	0	
11:30~12:00	65	36	3	11	0	
12:00~12:30	24	7	0	8	1	
12:30~13:00	12	1	1	4	0	
13:00~13:30	1	2	0	0	0	
13:30~14:00	0	0	1	2	2	
14:00~14:30	0	0	0	4	0	
合計	255	231	39	47	14	
断面合計	255	270	61			

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



7-1 午前 対象地 (天候 曇り)



7-2 午後 対象地 (天候 雨)



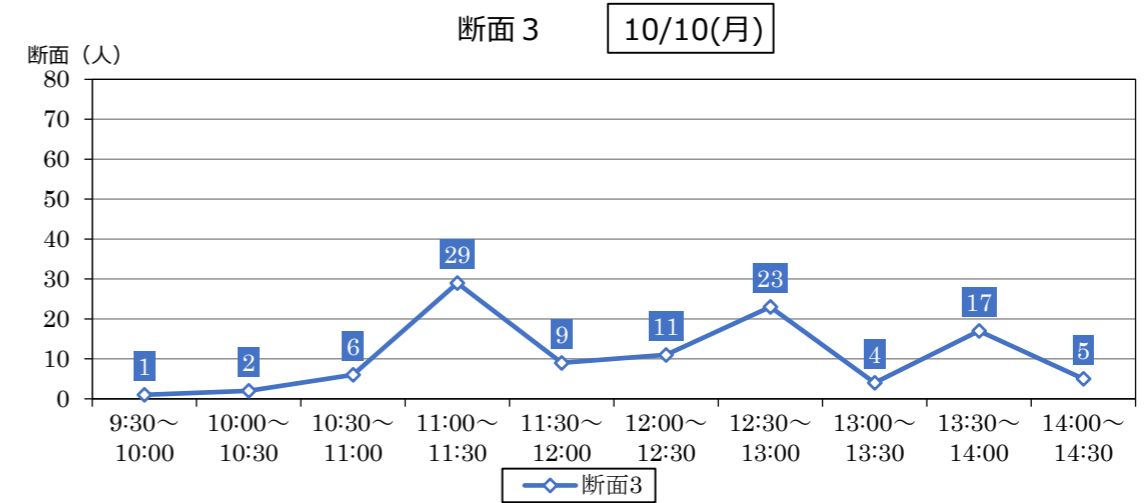
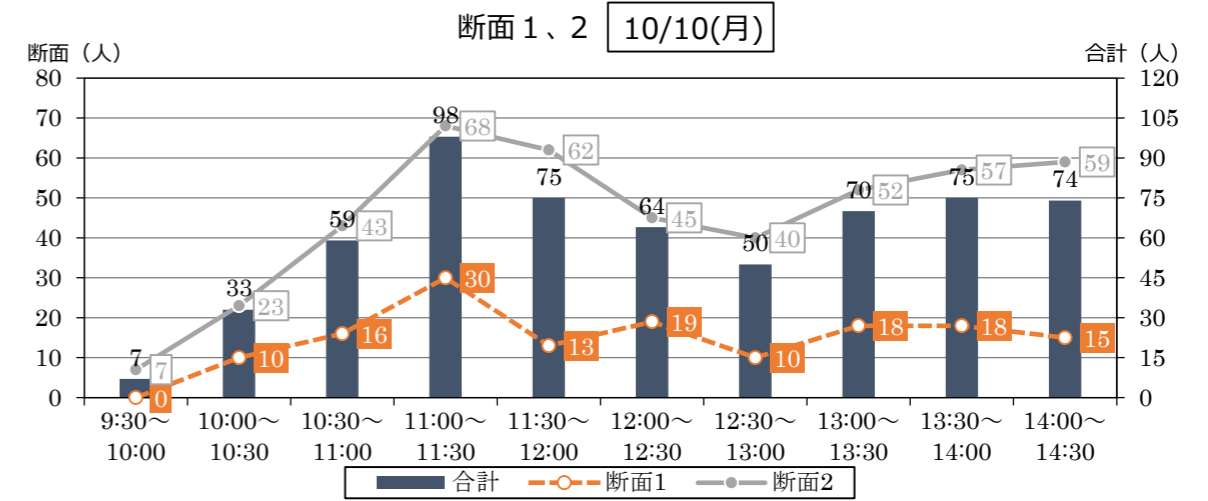
7-3 高架下通路



7-4 対象地から見える河川イベント

(2) 10月10日(月) 9:30~14:30

天候等	天候：曇り 気温：最低19℃最高21℃
キッチンカー台数	9台
河川敷イベント	「Laughin' Place～この瞬間を楽しもう～」主催：Senobisita☆Kodomotati ※雨天予報のため、ステージイベント等は中止し、マルシェのみの開催。
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、11:00~11:30の時間帯が30人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量が多い。特にb方向が多く、11:00~11:30の時間帯が61人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量は、11:00~11:30の時間帯が29人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントが行われていたことから、断面1と断面2では社会実験終了後も通行量が一定数あった。</li> <li>家族連れが多くベビーカー利用者がいた。またベンチの数が足りなくベンチ一つに2つのグループが相席していた。その際の体の向きは、グループごとで異なっていた。</li> <li>対象地では、等間隔でベンチを配置することで利用者が分散され対象地を満遍なく活用していた。</li> </ul>



(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	0	6	1	1	0	
10:00~10:30	10	21	2	2	0	
10:30~11:00	16	40	3	4	2	
11:00~11:30	30	61	7	29	0	
11:30~12:00	13	49	13	8	1	
12:00~12:30	19	45	0	11	0	
12:30~13:00	10	34	6	23	0	
13:00~13:30	18	44	8	4	0	
13:30~14:00	18	45	12	17	0	
14:00~14:30	15	53	6	2	3	
合計	149	398	58	101	6	
断面合計	149	456	107			

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



8-1 対象地の様子



8-2 歩行者の様子



8-3 対象地の様子



8-4 高水敷の様子

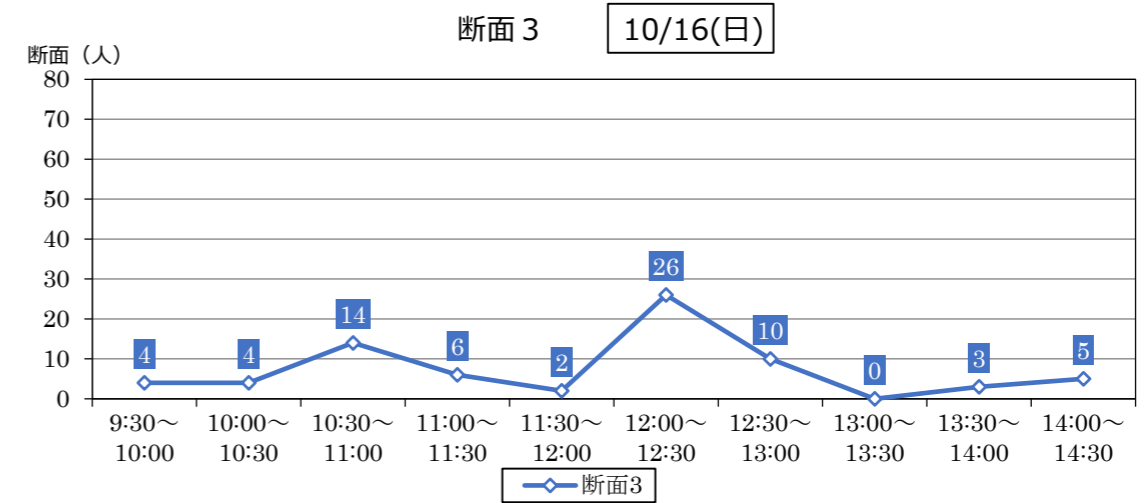
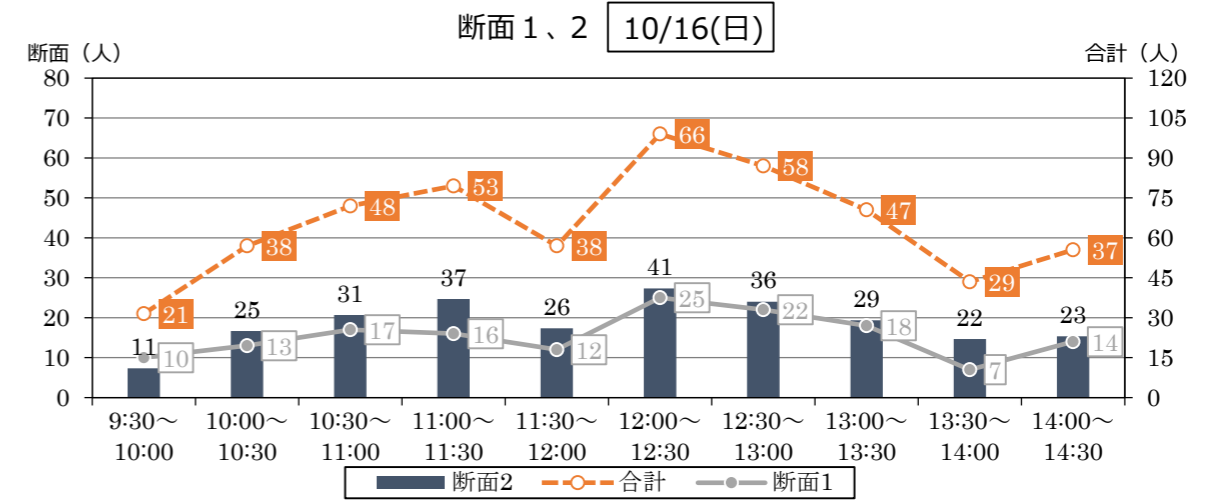
(3) 10月16日(日) 9:30~14:30

天候等	天候：晴れ 気温：最低19℃最高25℃
キッチンカー台数	5台
河川敷イベント	「加古川まちの文化祭」主催：加古川まちの文化祭の会
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、12:00~12:30の時間帯が25人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量が多い。特にb方向が多く、12:00~12:30の時間帯が37人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量は、12:00~12:30の時間帯が26人で最大となる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントが行われていたことから、断面1と断面2では社会実験終了後も通行量が一定数あった。</li> <li>河川敷イベントがあるため、河川敷と対象地への交互通行があった。整備された管理通路以外に高架下の法面を移動する方がいた。</li> </ul>

(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	10	9	2	2	2	
10:00~10:30	13	19	6	4	0	
10:30~11:00	17	26	5	11	3	
11:00~11:30	16	31	6	6	0	
11:30~12:00	12	22	4	2	0	
12:00~12:30	25	37	4	26	0	
12:30~13:00	22	32	4	10	0	
13:00~13:30	18	27	2	0	0	
13:30~14:00	7	19	3	3	0	
14:00~14:30	14	20	3	4	1	
合計	154	242	39	68	6	
断面合計	154	281	74			

- : a方向 時間辺り最大人数
- : b又はc方向 時間辺り最大人数
- : d又はe方向 時間辺り最大人数



9-1 商業施設からみた対象地の様子



9-2 管理通路以外の通り道の様子



9-3 高架下へ向かう様子

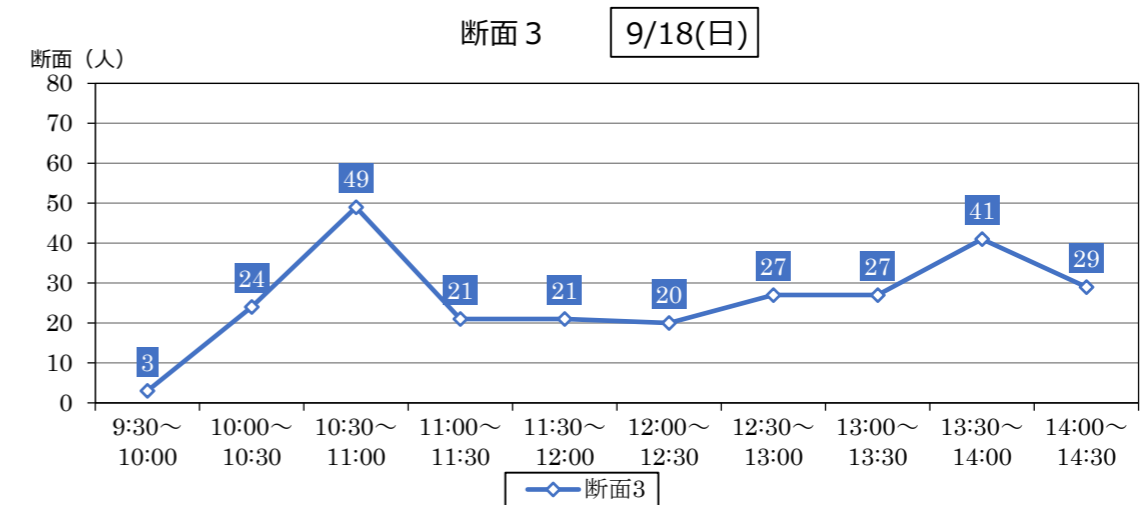
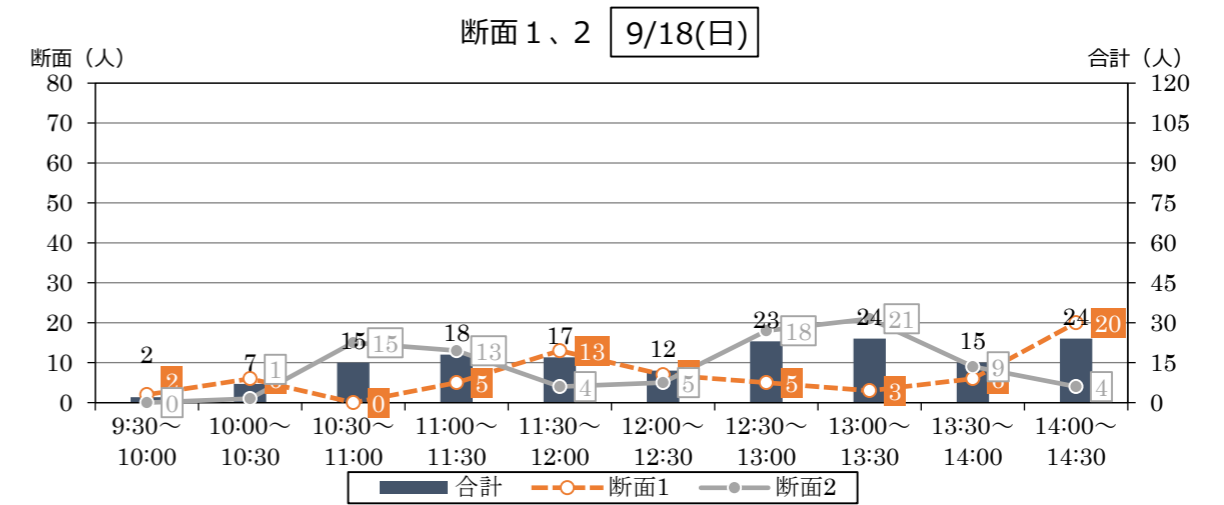


9-4 高架下へ降りる様子

d) 河川敷イベント

(1) 9月18日(日) 9:30~14:30

天候等	天候：晴れ 気温：最低31℃最高32℃
キッチンカー台数	出店無
河川敷イベント	「ONE LOVE KAKOGAWA」主催：KAKORAGGA MUZIK
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、14:00~14:30の時間帯が20人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量は、b断面の12:30~13:00、13:00~13:30の時間帯が18人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量が多い。特にd方向が多く10:30~11:00の時間帯が46人で最大となる。</li> </ul>
特徴	断面2より断面3の通行量が多い。また、社会実験がなかったため河川敷イベントに行く歩行者は、断面2より断面3を利用していることが考えられる。



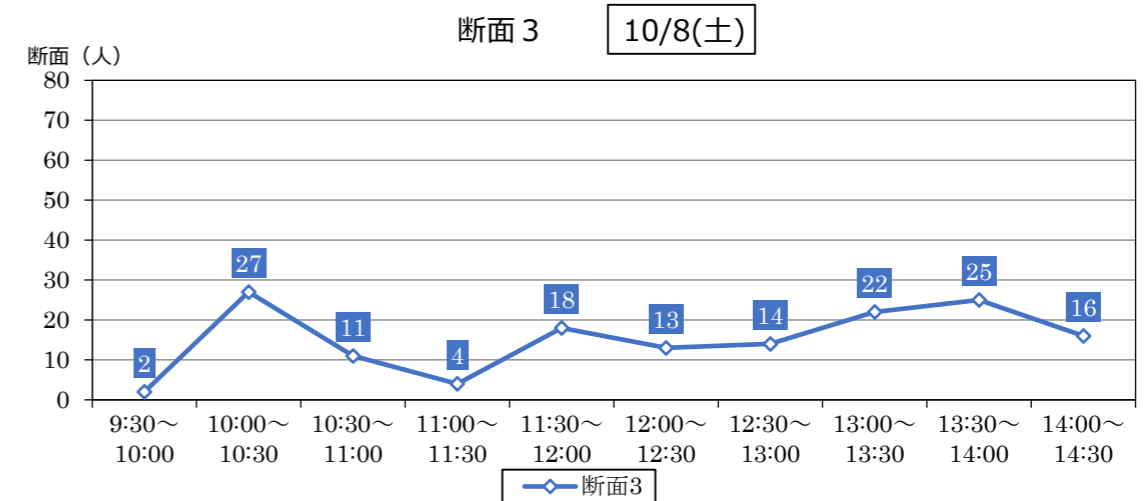
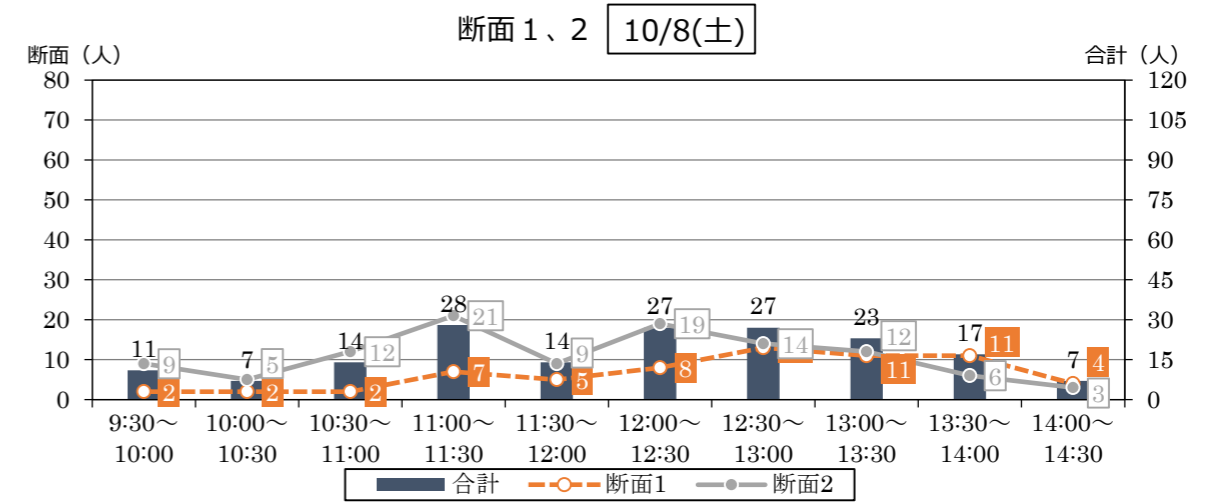
(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a方向	b方向	c方向	d方向	e方向	
9:30~10:00	2	0	0	2	1	
10:00~10:30	6	0	1	19	5	
10:30~11:00	0	15	0	46	3	
11:00~11:30	5	13	0	17	4	
11:30~12:00	13	4	0	9	12	
12:00~12:30	7	5	0	17	3	
12:30~13:00	5	18	0	15	12	
13:00~13:30	3	18	3	20	7	
13:30~14:00	6	9	0	38	3	
14:00~14:30	20	4	0	27	2	
合計	67	86	4	210	52	
断面合計	67	90		262		

<span style="background-color: #FFA500; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : a方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #FFFF00; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : b又はc方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> : d又はe方向 時間辺り最大人数

(2) 10月8日(日) 9:30~14:30

天候等	天候：雲りのち晴れ 気温：最低19℃最高21℃
キッチンカー台数	出店無
河川敷イベント	「第2回 Kako Re:Birth アート・おんがく・ものづくりフェスティバル」 主催：Kako Re:Birth (カコ・リバーズ)
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>断面1の通行量は、12:30~13:00の時間帯が13人で最大となる。</li> <li>断面2の通行量は、b断面の11:00~11:30の時間帯が19人で最大となる。</li> <li>断面3の通行量が多い。特にd方向が多く13:30~14:00の時間帯が21人で最大となる。</li> </ul>
特徴	断面2より断面3の通行量が多い。また、社会実験がなかったため河川敷イベントに行く歩行者は、断面2より断面3を利用していることが考えられる。



(単位：人)

計測時間	断面1		断面2		断面3	
	a 方向	b 方向	c 方向	d 方向	e 方向	
9:30~10:00	2	9	0	1	1	
10:00~10:30	2	3	2	10	17	
10:30~11:00	2	9	3	7	4	
11:00~11:30	7	19	2	4	0	
11:30~12:00	5	8	1	16	2	
12:00~12:30	8	17	2	10	3	
12:30~13:00	13	14	0	14	0	
13:00~13:30	11	11	1	20	2	
13:30~14:00	11	5	1	21	4	
14:00~14:30	4	3	0	11	5	
合計	65	98	12	114	38	
断面合計	65	110		152		

<span style="background-color: #FFA500; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> : a 方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #FFFF00; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> : b 又は c 方向 時間辺り最大人数
<span style="background-color: #C8E6C9; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span> : d 又は e 方向 時間辺り最大人数



### 5.3.4. 調査結果の整理・分析

通行量調査結果について、平時、社会実験時、社会実験+河川敷イベント時、河川敷イベント時に区分し、整理を行った。

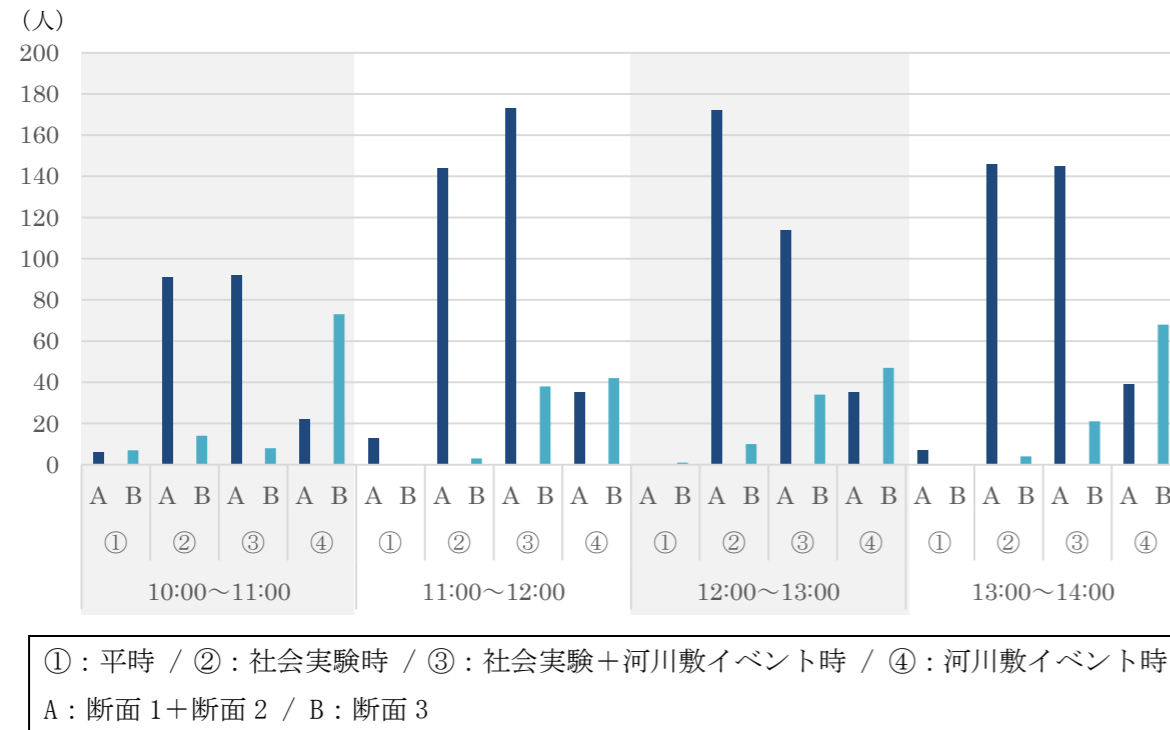


図 5-6：通行量調査結果の比較 (4 区分/計測断面/時間)

#### (1) 断面 1+断面 2 について

来客を想定した断面 1、2 の通行量は、昼食時であり、社会実験と河川敷イベントが同時開催の場合に最も多い結果となった。一方、河川敷イベント時において断面 1、2 の通行量は平時に近い結果であり、社会実験時のみの通行量が社会実験と河川敷イベントが同時開催の場合に近い結果であることを踏まえると、対象地で社会実験のような飲食サービスを提供した場合、気候にもよるが集客効果は高く、対象地周縁の河川敷のイベントによって集客効果がより高まる可能性があると考えられる。

また、断面 1 においては社会実験時及び社会実験と河川敷イベントが同時開催の場合において相当数の来客を確認していることから、河川敷側の動線整備も有効と考えられる。

#### (2) 断面 3 について

河川敷イベントの来訪者を想定した断面 3 の通行量は、10 時~14 時にかけて平均 50 人程度は存在しており、このことは断面 3 が JR 加古川駅から対象地北東側の河川敷に向かう動線として、来訪者に認識されている可能性が高いと考えられる。

加えてこの事実を有効に活用し、対象地にアンケート調査結果で得られたニーズに応える空間を整備することができれば、対象地北側の河川敷イベントへ向かう来訪者を対象地の利用者として取り込むといった、対象地の集客力を高める要因となることが期待される。

### 5.3.5. 対象地周縁の集客ポテンシャル等に係る分析

図 5-6 に示すとおり、社会実験のように対象地に行ってみたいと思える環境を整備することで、対象地周辺の人流は増加する効果を確認することができた。また、対象地の活用に合わせて河川敷イベントを行うことで、対象地のみを活用すること以上に集客効果が高まる可能性を確認することができた。

また、河川敷側の動線である断面 1 の通行量は、断面 2 (動線 b) 程度の通行量を確認できる日もあることから、対象地周縁において社会実験同等以上の活用を行うことは、対象地周縁に人の活動を増加させ、賑わいを生み出し、かわまちづくり計画で目指す状態に繋がることが期待される。

以上より、通行量調査結果からは対象地周縁の集客ポテンシャルは高いと考えられる。

### 5.3.6. 課題の整理

前項のとおり、対象地周縁の集客ポテンシャルは高いと考えられるが、社会実験や河川敷イベントといった「特別な体験」であり「体験内容が日によって変わる」といった特徴があることに留意する。

キッチンカーによる飲食サービスでは意図的にジャンルの異なる商品を同日に提供し、出店日によって飲食サービスの内容に変化を持たせている。また、キッチンカーであるため、雨天時の退避場所や晴天時の日陰は設けていない。

以上の要因を踏まえると、対象地の集客ポテンシャルは高いと考えられるが、その集客力は天候に大きく左右されること、季節やイベントに応じて提供サービスに変化を持たせるなど陳腐化を避ける工夫が必要であると考えられる。

また、環境整備の一環として、河川敷側も含めた利用者目線の動線整備も課題と言える。

## 5.4. 経営状況の調査

### 5.4.1. 調査目的

経営状況の調査は、社会実験で得られたキッチンカーの売上等をもとに、本事業で想定する飲食施設の整備・運営の実現可能性を検討すること目的に実施した。また、対象地における飲食施設の採算性について、調査・分析を行った。

### 5.4.2. 調査方法

#### a) 対象データ

調査の対象データは、キッチンカーを出店した令和4年9月17日（土）～令和4年10月16日（日）の間に売上したキッチンカー事業者の売上・経費データとした。

#### b) 分析の視点

飲食施設を設けるうえでは当然ながら初期投資を必要とし、初期投資を回収しつつ事業主の採算を確保するための「集客」や「売上」等を確保・維持向上できるかが重要となる。そのため、社会実験では初期投資のかからないキッチンカーを用いて「集客」や「売上」の程度のデータを収集し、対象地に飲食施設を設けるとい投資価値があるのかについて検討を行う。

また、本事業における飲食施設の提供サービスは、利用者が飲食施設のリピーターになることや朝夕晩の飲食時間によって滞在時間が変化することを想定し、一品のみの提供だけでなく、軽食+2品やドリンクのテイクアウト等、複数の商品・提供方法の導入を想定している。この場合において、飲食施設のテナントに複数業者が入居することも考えられることから、社会実験では意図的にジャンルの異なる商品を同日に提供することでこのサービス形態を模している。

経営状況の調査・分析においては、多種多様な飲食サービスを提供した際の「集客数」、「商品の人気の偏り」、「客単価」等について着目することで、本事業で想定する飲食施設の採算性について分析を行うものとした。

#### c) 対象データの整理項目

前項の分析の視点をもとに、キッチンカーの営業形態で入手可能であり、かつ分析に必要と考えられる項目として以下の整理項目を設定し、データの整理を行った。なお、整理項目の詳細な説明は5.5.4に整理している。

表 5-1：経営状況の分析に用いる項目及び概要

整理項目	概要
購入数	商品の販売数
売上	商品を提供することにより、稼いだ売上金額
経費（販売管理費）	人件費、食材費、光熱水費、燃料費、交通費、その他経費等
販売管理比率	家賃、旅費交通費、水道光熱費、修繕費、原価償却費などに分けられる。販売管理は、売上高の占める割合の一つであり、経営状況の調査・分析では30%～35%（考え方は5.5.4のとおり）を目標とする。
粗利益（売上総利益）	売上高から売上原価（＝仕入－在庫）を差し引いたものであり、数値が高いと利益が上げられている。社会実験においてはキッチンカーのその他経費以外の経費を売上原価とした。
粗利率（売上高総利益率）	粗利益（＝売上総利益）÷売上高×100 数値が高ければ高いほど収益性に優れていると判断される。
売上高人件費率	人件費÷売上高×100 「小企業の経営指標 2019」における喫茶店の人件費対売上高比率平均は、35.9%である。
経常利益	営業利益（売上総利益－販管費）＋営業外収益（本業の活動以外の財務活動などによる収益）－営業外費用（本業の活動以外の財務活動などで発生する費用） 今回の社会実験では、経常利益＝営業利益とする。

### 5.4.3. 調査結果概要

#### a) 社会実験実施日別

社会実験実施日毎の整理結果は下表のとおりである。

項目	9月17日	10月1日	10月2日	10月9日	10月10日	10月15日	10月16日	計
キッチンカー台数（台）	8	8	6	9	9	10	5	55
天候	晴れ→曇り	晴れ	晴れ	曇り→雨	曇り	晴れ	晴れ	—
①購入者数（人）	320	322	294	133	265	274	48	1,656
②売上（円）	268,550	276,650	315,350	147,310	246,550	231,050	61,850	1,547,310
③経費（販売管理費）（円）	181,510	220,284	178,550	160,165	177,180	150,446	74,480	1,142,615
④人件費（円）	78,000	100,828	60,000	74,000	63,000	62,000	42,000	479,828
⑤食材費（円）	84,270	86,767	99,800	53,095	85,450	68,120	20,780	498,282
⑥光熱水費（円）	6,150	12,776	8,150	7,650	5,650	4,650	1,800	46,826
⑦燃料費（円）	8,330	8,070	4,200	13,840	13,000	10,330	8,800	66,570
⑧交通費（円）	2,760	4,966	2,400	3,580	2,080	3,346	1,100	20,232
⑨その他経費（円）	2,000	6,877	4,000	8,000	8,000	2,000	0	30,877
⑩販売管理費比率： （⑤+⑥+⑦+⑧+⑨）÷②×100	39	43	38	58	46	38	53	43
⑪粗利益（円）： ②－（④+⑤+⑥+⑦+⑧）	89,040	63,243	140,800	-4,855	77,370	82,604	-12,630	435,572
⑫粗利率（利益率）：⑪/②	33.2%	22.9%	44.6%	-3.3%	31.4%	35.8%	-20.4%	28.2%
⑬平均売上（円）	33,569	34,581	52,558	16,368	27,394	23,105	12,370	28,133
⑭平均客単価（円/人）	839	859	1,073	1,108	930	843	1,289	934
⑮売上高人件費率：④÷②×100	29	36	19	50	26	27	68	31
⑯営業利益（円）：②-③	87,040	56,366	136,800	-12,855	69,370	80,604	-12,630	404,695

b) 日割り事業者別

社会実験実施日の日単位調査結果は下表のとおりである。

(1) 9/17 社会実験 1 日目

項目									計
主な提供商品	唐揚げ	カレー	サンド	唐揚げ	たい焼き	コーヒー	ピザ	ピザ	
①購入数(個)	80	40	34	25	32	38	26	45	320
②売上(円)	49,900	45,100	21,000	15,700	20,750	34,800	24,000	57,300	268,550
③経費(販売管理費)(円)									181,510
④人件費(円)									78,000
⑤食材費(円)									84,270
⑥光熱水費(円)									6,150
⑦燃料費(円)									8,330
⑧交通費(円)									2,760
⑨その他経費(円)									2,000
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100									38
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)									89,040
⑫粗利率(利益率): ⑪/②									33.2%
⑬平均客単価(円/人)									839
⑭売上高人件費率: ④÷②×100									29
⑮営業利益(円): ②-③									87,040

(2) 10/1 社会実験 2 日目

項目									計
主な提供商品	唐揚げ	牛丼	アイス	唐揚げ	クレープ	たい焼き	コーヒー	ピザ	
①購入数(個)	40	55	50	40	37	31	29	40	322
②売上(円)	28,400	64,500	33,000	24,000	26,600	18,750	28,200	53,200	276,650
③経費(販売管理費)(円)									220,284
④人件費(円)									100,828
⑤食材費(円)									86,767
⑥光熱水費(円)									12,776
⑦燃料費(円)									8,070
⑧交通費(円)									4,966
⑨その他経費(円)									6,877
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100									43
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)									63,243
⑫粗利率(利益率): ⑪/②									22.9%
⑬平均客単価(円/人)									859
⑭売上高人件費率: ④÷②×100									36
⑮営業利益(円): ②-③									56,366

(3) 10/2 社会実験 3 日目

項目							計
主な提供商品	丼飯	カレー	ハンバーガー	たい焼き	コーヒー	ピザ	
①購入数(個)	70	66	45	25	40	48	294
②売上(円)	74,500	70,950	49,050	19,550	39,600	61,700	315,350
③経費(販売管理費)(円)							178,550
④人件費(円)							60,000
⑤食材費(円)							99,800
⑥光熱水費(円)							8,150
⑦燃料費(円)							4,200
⑧交通費(円)							2,400
⑨その他経費(円)							4,000
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100							36
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)							140,800
⑫粗利率(利益率): ⑪/②							44.6%
⑬平均客単価(円/人)							1,073
⑭売上高人件費率: ④÷②×100							19
⑮営業利益(円): ②-③							136,800

(4) 10/9 社会実験 4 日目

項目										計
主な提供商品	カレー	タコライス	ピザ	クレープ	唐揚げ	コーヒー	ピザ	サンド	ハンバーガー	
①購入数(個)	14	10	12	20	12	15	14	5	31	133
②売上(円)	21,400	10,400	12,800	19,160	7,400	15,600	18,900	3,300	38,350	147,310
③経費(販売管理費)(円)										160,165
④人件費(円)										74,000
⑤食材費(円)										53,095
⑥光熱水費(円)										7,650
⑦燃料費(円)										13,840
⑧交通費(円)										3,580
⑨その他経費(円)										8,000
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100										58
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)										-4,855
⑫粗利率(利益率): ⑪/②										-3.3%
⑬平均客単価(円/人)										1,108
⑭売上高人件費率: ④÷②×100										50
⑮営業利益(円): ②-③										-12,855

※キッチンカー出店者に関する情報のため、一部黒塗りしています。

(5) 10/10 社会実験 5 日目

項目										計
主な提供商品	カレー	タコライス	サンド	ピザ	唐揚げ	たい焼き	コーヒー	ピザ	ハンバーガー	
①購入数(個)	33	43	30	29	35	29	25	7	34	265
②売上(円)	24,400	46,800	19,800	38,400	20,200	17,650	22,800	11,100	45,400	246,550
③経費(販売管理費)(円)										177,180
④人件費(円)										63,000
⑤食材費(円)										85,450
⑥光熱水費(円)										5,650
⑦燃料費(円)										13,000
⑧交通費(円)										2,080
⑨その他経費(円)										8,000
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100										46
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)										77,370
⑫粗利率(利益率): ⑪/②										31.4%
⑬平均客単価(円/人)										930
⑭売上高人工費率: ④÷②×100										26
⑮営業利益(円): ②-③										69,370

(6) 10/15 社会実験 6 日目

項目											計
主な提供商品	唐揚げ	カレー	タコライス	サンド	唐揚げ	たい焼き	コーヒー	ピザ	チキンライス	アイス	
①購入数(個)	30	35	51	30	25	25	25	17	21	15	274
②売上(円)	23,700	45,800	52,200	20,100	13,700	10,150	23,400	17,550	15,450	9,000	231,050
③経費(販売管理費)(円)											150,446
④人件費(円)											62,000
⑤食材費(円)											68,120
⑥光熱水費(円)											4,650
⑦燃料費(円)											10,330
⑧交通費(円)											3,346
⑨その他経費(円)											2,000
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100											38
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)											82,604
⑫粗利率(利益率): ⑪/②											35.8%
⑬平均客単価(円/人)											843
⑭売上高人工費率: ④÷②×100											27
⑮営業利益(円): ②-③											80,604

※キッチンカー出店者に関する情報のため、一部黒塗りしています。

(7) 10/16 社会実験 7 日目

項目											計
主な提供商品	カレー	サンド	ピザ	唐揚げ	チキンライス						
①購入数(個)	15	8	10	10	5						48
②売上(円)	33,500	5,100	13,400	6,100	3,750						61,850
③経費(販売管理費)(円)											74,480
④人件費(円)											42,000
⑤食材費(円)											20,780
⑥光熱水費(円)											1,800
⑦燃料費(円)											8,800
⑧交通費(円)											1,100
⑨その他経費(円)											0
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100											53
⑪粗利益(円): ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)											-12,630
⑫粗利率(利益率): ⑪/②											-20.4%
⑬平均客単価(円/人)											1,289
⑭売上高人工費率: ④÷②×100											68
⑮営業利益(円): ②-③											-12,630

c) 事業者別

事業者別経営状況を次表に示す。

項目	[Redacted]																	計	
	唐揚げ	カレー	サンド	唐揚げ	たい焼き	コーヒー	ピザ	ピザ	牛丼	アイス	クレープ	ハンバーガー	タコライス	ピザ	クレープ	チキンライス	アイス		
主な提供商品																			
出店日数(日)	3	6	5	6	5	6	3	4	2	1	1	3	3	3	1	2	1	55	
①購入数(個)	150	203	107	147	142	172	50	147	125	50	37	110	104	51	20	26	15	1,656	
②売上(円)																		1,547,310	
③経費(販売管理費)(円)																		1,142,615	
④人件費(円)																		479,828	
⑤食材費(円)																		498,282	
⑥光熱水費(円)																		46,826	
⑦燃料費(円)																		66,570	
⑧交通費(円)																		20,232	
⑨その他経費(円)																		30,877	
⑩販売管理費比率: (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100																		43	
⑪粗利益(円): ②-(④+⑤+⑥+⑦+⑧)																		435,572	
⑫粗利率(利益率): ⑪/②																		28.2%	
⑬平均売上(円)																		28,133	
⑭平均客単価(円/人)																		934	
⑮売上高人件費率: ④÷②×100																		31	
⑯営業利益(円): ②-③																		404,695	

※キッチンカー出店者に関する情報のため、一部黒塗りしています。

### 5.4.5. 調査結果の整理

#### a) 社会実験実施日別経営状況

- ・ 経営状態は、雨天（10月9日）の影響やキッチンカーの数が少ない日（10月16日）は購入数が10月9日、16日以外と比較し少なく、平均客単価が高くなり赤字となっている。その他の日程では、黒字となり、営業期間を通じては黒字経営となっている。
- ・ 黒字経営であり、河川敷のイベント時には、通行量が増加していることから、実施場所において飲食のニーズは高いと考えられる。
- ・ 雨天時に売上が少なくなる傾向があり、天候に大きく左右されるキッチンカーとしての特性が見てとれる。
- ・ ⑩販売管理費比率（売上に占める人件費率の割合）は、雨天時とキッチンカーの台数が少ない日程を除き一般的な喫茶店と同程度となっている。
- ・ ⑮売上高人件費率（売上に占める人件費率の割合）は、一般的な喫茶店と比べ、人件費の割合が低いと言えるが、事業者によっては、人件費を0円としていた、といったキッチンカーの特徴と言える。

#### b) 日単位別経営状況

- ・ 経費のうち、人件費が高い事業者や、人件費に対し客単価が小さい事業者は赤字になる傾向にある。
- ・ ⑮売上高人件費率より、一般的な喫茶店と比べ、人件費の割合が高いと言えるが、移動式店舗は初期投資が少ない分人件費に余裕を持たせることができる、といったキッチンカーの特徴と言える。
- ・ 社会実験の時間が10時から14時までのため、ランチ時を想定するとコーヒーやアイス、クレープなどのスイーツ等よりも、唐揚げ等のおかずとなるご飯ものの購入数が多い傾向にある。
- ・ 雨天時は、「傘をさして片手が塞がり、手があかないこと」や「雨天のため足を対象地に運ばないこと」、「その場に留まらないため複数品買わない」、「雨除けがない」等によって売上が下がることが考えられる。
- ・ 雨天時において、両手を必要とするピザ等の商品については、机や椅子、雨除けがないと現地での飲食は難しいため、売上が下がることが考えられる。

#### c) 事業者別経営状況

- ・ 社会実験の時間がランチ時であったため、ご飯ものやカレー、ピザ、丼ぶり、ハンバーガー、タコライス、唐揚げと様々な種類で黒字の経営利益をあげており、ランチ時に複数のメニューを提供することで採算性が確保できると考える。
- ・ 一方、コーヒーやアイス、クレープなどのスイーツ等については、ご飯ものと比較して赤字の事業者が多かったことから、ランチ時は商品の人気に偏りがでていた。

### 5.4.6. 対象地における飲食施設の採算性の検討

#### a) 検討の視点

本事業は飲食施設の誘致、広場の整備等を目指しており、複数台のキッチンカー出店は幅広い商品を一定期間連続で提供することで、カフェのような飲食サービスを模することを目的としていた。

そのため、検討においてはキッチンカー1台ごとに検証するのではなく、複数のキッチンカーが仮に1店舗であったと想定し、対象地において飲食施設の採算性が確保できるかどうか、という視点で検討を行う。

なお、キッチンカーの経営状況分析においては初期投資が存在しないことに留意する。

#### b) 採算性の検討

ここでは前項に示す検討の視点に基づき、社会実験実施日別の調査結果をもとに、飲食施設の採算性の検討を行う。

出店した全てのキッチンカーをひとつの店舗としてとらえたとき、初期投資が存在しないことに留意する必要はあるものの、7日間の経営状況は黒字（⑩営業利益がプラス）であった。また、⑩販売管理費比率は目標値である35%を超える結果となっているが、これは個人事業主の多いキッチンカーにあって、食材費等の経費が抑えることが難しいといったキッチンカーの特徴であると考えられる。

次に、⑭平均客単価と⑩営業利益に着目すると、客単価は7日間の中では高いが赤字（⑩営業利益がマイナス）となっているのは、「天候が雨」又は「最終日かつキッチンカー台数の少ない日」である。7日間という短い期間の営業ではあったが、対象地において飲食店の営業を行う際は、「天候」及び「特別感が比較的小さいサービス」には来客数が落ち込むリスクがあると考えられる。

また、後述する土地利用の評価において記述しているが、来客の多くは家族等複数であり、下表に整理している購入数は購入者数としていることから、実際にはより多くの来客があったと考えられる。⑭平均客単価が一般的なファストフード店のセット商品価格程度となっているのは、購入者が家族やパートナーの分も一緒に購入していたためと考えられる。

以上の着眼点を踏まえると、キッチンカーという特殊な販売形態の特徴はあるものの、飲食店として評価する場合、黒字化できていることから経営状況は概ね良好であったと評価でき、飲食店の採算性を確保できる可能性はあると考えられる。

表 5-3：社会実験実施日別の調査結果（再掲）

項目	9月17日	10月1日	10月2日	10月9日	10月10日	10月15日	10月16日	計
キッチンカー台数(台)	8	8	6	9	9	10	5	55
天候	晴れ→曇り	晴れ	晴れ	くもり→雨	くもり	晴れ	晴れ	—
①購入者数(人)	320	322	294	133	265	274	48	1,656
②売上(円)	268,550	276,650	315,350	147,310	246,550	231,050	61,850	1,547,310
③経費(販売管理費)(円)	181,510	220,284	178,550	160,165	177,180	150,446	74,480	1,142,615
④人件費(円)	78,000	100,828	60,000	74,000	63,000	62,000	42,000	479,828
⑤食材費(円)	84,270	86,767	99,800	53,095	85,450	68,120	20,780	498,282
⑥光熱水費(円)	6,150	12,776	8,150	7,650	5,650	4,650	1,800	46,826
⑦燃料費(円)	8,330	8,070	4,200	13,840	13,000	10,330	8,800	66,570
⑧交通費(円)	2,760	4,966	2,400	3,580	2,080	3,346	1,100	20,232
⑨その他経費(円)	2,000	6,877	4,000	8,000	8,000	2,000	0	30,877
⑩販売管理費比率： (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨)÷②×100	39	43	38	58	46	38	53	43
⑪粗利益(円)： ②- (④+⑤+⑥+⑦+⑧)	89,040	63,243	140,800	-4,855	77,370	82,604	-12,630	435,572
⑫粗利率(利益率)：⑪/②	33.2%	22.9%	44.6%	-3.3%	31.4%	35.8%	-20.4%	28.2%
⑬平均売上(円)	33,569	34,581	52,558	16,368	27,394	23,105	12,370	28,133
⑭平均客単価(円/人)	839	859	1,073	1,108	930	843	1,289	934
⑮売上高人件費率：④÷②×100	29	36	19	50	26	27	68	31
⑯営業利益(円)：②-③	87,040	56,366	136,800	-12,855	69,370	80,604	-12,630	404,695

### 5.4.7. 課題の整理

社会実験からは購入者数、客単価、購入数の多い商品の傾向、天候の影響について特徴や課題を把握することができたが、飲食店を整備・運営するうえで、良好な経営状況を確保するためには、営業時間やテイクアウト・イートイン等の商品提供方法の工夫が必要であると考えられる。

## 5.5. 土地利用の調査

### 5.5.1. 調査目的

土地利用の評価は、社会実験実施時における来客が、対象地をどのように利用し、どこで飲食を行うのか等、来客の土地利用方法について調査を行い、対象地の活用に向けた課題把握や対象地に必要と考えられる機能・スペース等の検討を行うことを目的に実施した。また、本事業が目指す飲食施設の誘致に向けては対象地における滞在性（滞在のしやすさ、適度な滞在時間を確保できること）を高めることが望ましいと考えられることから、土地利用の調査結果を活用し、滞在性の視点からも評価を行う。

### 5.5.2. 調査方法

土地利用調査は、社会実験実施時において来客が選択するスペース等、来客の土地利用方法を写真にて記録した。具体的には、来客の飲食の様子（飲食時に向く方角や飲食時の姿勢、飲食時の場所等）について調査を行った。

### 5.5.3. 調査結果の整理

調査結果は、通行量調査結果等を踏まえ、晴天時、雨天時及び社会実験と河川敷イベントを同日に行った日の3つの視点で整理を行った。

#### (1) 晴天時

- ・晴天時は、キッチンカーで購入した商品を食べる様子として、「河川方向を向いてベンチに座る」「河川敷の芝生に河川方向を見ながら座る」「高架下の日影に座る」「シートやテントを持参した椅子に座る」といった様子を確認することができた。また、ベンチや法面、段差を利用して、飲食や休憩をする様子を確認することができた。
- ・なお、来客以外の通行者としては、「ランニングする人や散歩する人」「鉄道橋の下部を通り抜ける人」「堤防上から電車を見る人」等を確認することができた。
- ・来客の多くは、対象地まで徒歩で来ていたが、中には自転車を利用する来客も確認することができた。

#### (2) 雨天時

- ・雨天時において小雨段階では、傘をさしながらベンチに座り飲食をする様子を確認することができた。小雨から大雨になった場合は、対象地では飲食はせず購入して持ち帰る様子を確認することができた。

#### (3) 河川敷イベント時

- ・通行量調査結果にも示すとおり、社会実験と河川敷イベントを同日に行った場合、対象地周縁の通行量は社会実験のみ実施する日に比べ増加する傾向を確認することができた。しかし、土地利用方法としては、対象地に留まる人が多い時間帯と購入後直ぐに移動する人が多い時間帯が存在していた。

### 5.5.4. 土地利用の評価

社会実験は9月～10月の快適な気候のもと実施しており、晴天時には加古川を眺めながら飲食する来客や、日陰で休憩しながら飲食する来客の様子を確認できた。

また、対象地を利用する者にとって利便性が低い社会実験のような状態であっても、シートやテントの持参、法面や縁石に腰掛け飲食する様子も確認できたことから、キッチンカーイベントという付加価値のみでも十分に来客を滞在させることのできるポテンシャルが対象地にはあると考えられる。

本事業の実施に当たっては、休息スペースや広場、飲食のための椅子・テーブル・テラス・日陰・トイレ等、対象地の利便性を高める要素を盛り込むことで、対象地の滞在性を高めることが期待できる。

### 5.5.5. 課題の整理

土地利用の調査では、来客が対象地を様々な活用している様子を確認することができた。なかには河川の方角を見てベンチに腰掛け、飲食する様子も確認できたことから、対象地の活用にあたっては河川方向への景観性の確保が効果的であると考えられる。また、雨風や日照りを避けるために、高架下を利用している様子も確認できたことから、屋外環境を感じつつ、雨や日照りを避けることのできる環境を整備することが望ましい。

また、対象地には広場やトイレがないことから、飲食を行う間のみ滞在する場所となっていた。加えてベンチが少なかつたため、利用できずに立食する様子も確認することができた。そのため、対象地の活用にあたっては、多目的に利用できる排他的ではない広場や気軽に安心して利用できるトイレを整備する等、対象地の滞在性を高める工夫が必要と考えられる。

そのほか、移動手段については歩行者のみならず自転車や車椅子等の様々な利用者に対応することが望ましいと考えられる。



5-6-①ベンチに座る様子



5-6-②段差に座る様子



5-6-③テントを使う様子



5-6-④ベンチを机にする様子



5-6-⑤社会実験対象地の様子



5-6-⑥自転車駐輪の様子



5-6-⑦高架下の様子



5-6-⑧高架下の様子



5-6-⑨法面に座る様子



5-6-⑩電車を見る様子



5-6-⑪河川敷から対象地を見た様子



5-6-⑫高架下の坂を登る様子



5-6-⑬雨天時の対象地の様子



5-6-⑭ベンチを利用する様子

## 6. 整備効果の検証

事業スキームの検討のとおり、本事業では民間事業者の独立採算を想定している。独立採算とは初期投資を運営期間で回収し、適正な経営を行える状態をいう。今回の社会実験では、独立採算の可能性を検証するため、「来客はどの程度確保できるか」「長く滞在するのか」「何をどの程度購入するのか」「土地をどのように使うのか」を社会実験によって調査を行った。

このうち、収益を高める方策としての「人を引き付ける要素」「滞在時間を確保する要素」には「行ってみたいくなる景観」「とどまりたくなる場所」「付加価値のあるサービス」「利便性の高い機能・サービス」が重要と考えられる。そのため、対象地の活用に向けて必要な「滞在性」や民間事業者が稼ぐために必要な「収益性」について調査結果から分析結果を示し、付随する「視認性」、「アクセス性」、「河川敷との連携性」、「景観性」についても同様に示す。なお、対象地の課題点については、次項「課題と対応策」において整理している。

## 6.1. 検証項目の整理

### 6.1.1. 滞在性

- ・晴天時は、対象地で商品を購入しその場で飲食する様子が見られた。なお、社会実験初日(9/17)のアンケートから「机や椅子」「座って休憩や購入した商品を食べるスペース」の機能があったら良いと回答があったため、第2回社会実験以降は、ベンチを設けた。また、第2回社会実験のアンケートから「高台で景色も良いので、景色を見ながら飲食やゆっくりできるスペースがあれば良い(風雨をしのげる)」「冷暖房完備の休憩所」「日陰」「近くにトイレ」「テラス」「子供向けの施設」の機能が良かったら良いとの回答があった。雨天時は、対象地で商品を購入しその場で飲食する様子は晴天時と比べて少なかった。
- ・飲食する体勢は、立って飲食や、ベンチに座る、地面に座る、川表の法面に座る、JR神戸線の高架下で座る、シートを設けて座る、テントを設けて座る等であった。
- ・対象地は、河川敷イベントの際に河川敷イベントへの通路として利用する人がいた。
- ・ベンチを設けたが、雨風を防ぐ屋根がない場合には、晴天時の滞在時間より、雨天時の滞在時間は短いと考えられる。また、商品を購入し、片手で飲食可能な商品は、立ったまま飲食が可能だが、両手を使う飲食については、ベンチや机等が必要と考えられる。
- ・社会実験日には、気温が30℃の日や雨天の日のように気候によって滞在性が異なった。

### 6.1.2. 収益性

- ・複数のキッチンカーが仮に1店舗であったと想定した時に、営業期間を通じて黒字経営になったことから飲食施設の採算性が確保できると考えられる。
- ・飲食施設を設けるにあたって、ご飯ものの購入数が多かったように、営業する時間帯に合わせて様々な種類の飲食を提供することや人気の偏りがないような飲食施設での対象地の活用が考えられる。

### 6.1.3. 河川敷との連携性

- ・社会実験+河川敷イベント時は、社会実験のみと比較して、通行者が増加し、河川敷イベントのみの際は、社会実験のみと比較して断面1、断面2の通行量が減少し、断面3の通行量が増加した。また、対象地では河川管理通路以外の整備されていない経路を利用する様子があった。
- ・河川管理通路を使うことで対象地と河川敷イベントまでの距離が長くなるため、河川管理通路以外の整備されていない経路を利用することが考えられる。また、河川敷イベントのみの際は、社会実験+河川敷イベント時と比較し対象地の通行量が減少し、対象地を含んだ回遊性が低いと考えられる。

### 6.1.4. 視認性

- ・近隣商業施設の駐車場や、JR神戸線南側高水敷、新加古川左岸線、加古川橋(国道2号)から対象地を確認することができた。また、アンケート設問3「イベントの実施をどのように知りましたか」との問いに対して、「会場の様子が見えたため」と回答した人もいた。一方で、川を挟んだ対岸からは距離があり対象地の様子がわからないほか、鉄道橋で隠れているため、JR神戸線北側高水敷からは、対象地の様子がわからない。
- ・平時は、対象地に建物や残置されてあるものがないため、対象地に建物を設けた場合に近隣から確認でき視認性が高いと考える。また、盛土を想定する部分については、病院からの視認性が高まることが考えられる。
- ・上記を踏まえ、建物・広場の位置等について、対象地周辺からの視認性又は、ある特定の場所(例:高水敷・商業施設・病院・新加古川左岸線・JR神戸線の電車の車窓)からの視認性を高めるのか検討が必要である。





商業施設駐車場からの視認性



商業施設からの視認性（拡大）

#### 6.1.5. アクセシビリティ

- ・アンケートの回答から来客の約75%が市内の人であった。また、交通手段は、約62%が車だった。
- ・市内からの来客が多く、対象地の近隣に商業施設もあり、市民にとって訪れやすい場所であることが考えられる。また、車での来客が多く、駐車場に対して一定程度のニーズがあることが考えられる。

#### 6.1.6. 景観性（対象地からの景観）

- ・前提として、社会実験では、川表側にキッチンカー、川裏側にベンチを設けた。そのため、対象地から河川方向を見た際に、横並びに停めているキッチンカーの隙間内、木々が生い茂っていない場所から川が見え、盛土を想定している箇所からは、川や河川敷イベントの様子が見えた。また、鉄道橋があるため間近で電車の様子を見ることができる。
- ・対象地からは、川や河川敷、電車、対岸、山間や日の出日の入りなど様々な風景を見ることができるため景観性に優れていると考える。

### 6.2. 整備効果の検証

前項までの調査結果、検証項目の整理結果より、対象地は集客ポテンシャルがあり、土地活用によって対象地周縁の人流が増加する可能性があると考えられる。

また、かわまちづくり計画で目指す状態の実現を目指し、本事業において飲食施設を誘致するにあたっては、対象地の景観性や滞在性を高める要素、不足している利便性に配慮した空間整備を行うとともに、社会実験の経営状況の特徴を踏まえた運営戦略と持続可能な運営計画の立案・実行が不可欠となる。このことは、事業スキームの検討結果より、適正な役割分担・リスク分担のもと市と民間事業者が連携し、市が公募条件を工夫することや民間事業者の創意工夫ある提案によって、実現可能性を高めることが期待できるといえる。

以上の検討過程より、本事業において飲食施設を整備することで、対象地周縁の人流増加や土地利用方法を多様なものに変化させ、河川敷イベントも相まって人々の活動が増加するといった整備効果は十分に期待できると評価した。